千代川圏域 県管理河川の減災対策協議会 規約(改正案)

(設置及び対象河川)

- 第1条 水防法(昭和24年法律第193号)第15条の10に基づく都道府県大規模氾濫減災協議会として「千代川圏域県管理河川の減災対策協議会」(以下「協議会」という。)を設置する。
- 2 この協議会で対象とする河川は、野坂川、大路川、八東川、私都川、蒲生川、小田川、塩見川、河内川、勝部川、日置川のほか、一級河川千代川水系及び鳥取県東部の二級水系のうち、鳥取県管理区間とする。

(目的)

第2条 協議会は、鳥取県管理河川における堤防の決壊、越水や越波等に伴う浸水被害に備え、隣接する 市町や県、国等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的かつ 計画的に推進し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とする。

(協議会の実施事項)

- 第3条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。
 - (1) 洪水の浸水想定等の水害リスク情報と、現状の減災に係る取組状況等の共有
 - (2) 円滑かつ迅速な避難、的確な水防活動及び円滑かつ迅速な氾濫水の排除を実現するために各機関がそれぞれ又は連携して取り組む事項をまとめた「地域の取組方針」の作成・共有
 - (3) 「地域の取組方針」に基づく対策の検討及び実施状況のフォローアップ
 - (4) その他、大規模水害に関する減災に関して必要な事項

(協議会)

- 第4条 協議会は、別表1に掲げる委員をもって構成する。
- 2 協議会は、前項によるもののほか、必要に応じて委員以外の者の出席を要請し、意見を聴くことができる。

(幹事会)

- 第5条 協議会の円滑な運営を行うため、協議会の下に幹事会を置く。
- 2 幹事会は、別表2に掲げる構成員をもって構成する。
- 3 幹事会は、前項によるもののほか、必要に応じて構成員以外の者の出席を要請し、意見を聴くことができる。

(ダム部会)

- 第6条 千代川水系における既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組にあたり必要となる治水協定等に ついて協議を行うため、ダム部会を置く。
- 2 ダム部会は、千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会に設置するダム部会をもって当ダム部会とし、 結果等については協議会が報告を求めることとする。

(流域治水部会)

- 第7条 鳥取県東部の二級水系で行う流域治水の全体像を共有・検討し、河川に関する対策、流域に関する対策、避難・水防等に関する対策を含む「流域治水プロジェクト」のとりまとめ等を行うため、流域治水部会を置く。
- 2 流域治水部会は、別表3に掲げる構成員をもって構成する。
- 3 流域治水部会は、前項によるもののほか、必要に応じて構成員以外の者の出席を要請し、意見を聴くことができる。

(会議の公開)

- 第8条 協議会は、原則として公開とする。ただし、審議内容によっては、協議会に諮り、非公開とすることができる。
- 2 幹事会・部会は、原則非公開とし、幹事会・部会の結果を協議会へ報告することにより、公開とみな す。

(協議会資料等の公表)

- 第9条 協議会に提出された資料等については、速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については、協議会の了解を得て公表しないことができる。
- 2 協議会の議事については、事務局が議事概要を作成し、出席した委員の確認を得た後公表するものとする。

(事務局)

第10条 協議会の事務局は、鳥取県県土整備部河川課に置く。

(雑則)

第 11 条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項については、協議会で定める。

(附則) 本規約は、平成29年5月18日から施行する。

平成30年2月7日改正令和元年5月29日改正令和2年5月27日改正令和3年1月25日改正令和3年0月00日改正

別表 1

千代川圏域 県管理河川の減災対策協議会

(委員) 鳥取市長

岩美町長

若桜町長

智頭町長

八頭町長

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所長

気象庁 鳥取地方気象台長

鳥取県 危機管理局長

鳥取県 企業局長

鳥取県 県土整備部長

鳥取県 鳥取県土整備事務所長

鳥取県 八頭県土整備事務所長

(オブザーバー) 国土交通省 中国地方整備局 河川部

(事務局) 鳥取県 県土整備部 河川課

別表2

千代川圏域 県管理河川の減災対策協議会 幹事会

(構成員) 鳥取市 危機管理部長

鳥取市 都市整備部長

鳥取市 下水道部長

岩美町 総務課長

若桜町 総務課長

智頭町 総務課長

八頭町 総務課 防災室長

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 副所長

気象庁 鳥取地方気象台 防災管理官

鳥取県 危機管理局 副局長 危機管理政策課長

鳥取県 企業局 工務課長

鳥取県 県土整備部 次長

鳥取県 鳥取県土整備事務所 計画調査課長

鳥取県 鳥取県土整備事務所 河川砂防課長

鳥取県 八頭県土整備事務所 建設総務課 計画調査室長

鳥取県 八頭県土整備事務所 河川砂防課長

(オブザーバー) 国土交通省 中国地方整備局 河川部

(事務局) 鳥取県 県土整備部 河川課

別表3

千代川圏域 県管理河川の減災対策協議会 流域治水部会

(構成員)

鳥取市 危機管理部 危機管理課長

都市整備部 都市企画課長

都市整備部 都市環境課長

下水道部 下水道企画課長

農林水産部 農村整備課長

岩美町 総務課長

鳥取県 危機管理局 危機管理政策課長

鳥取県 生活環境部 くらしの安心局 水環境保全課長

鳥取県 農林水産部 農地・水保全課長

鳥取県 農林水産部 森林・林業振興局 森林づくり推進課長

鳥取県 東部農林事務所 地域整備課長

鳥取県 県土整備部 技術企画課長

鳥取県 県土整備部 河川課長

鳥取県 県土整備部 治山砂防課長

鳥取県 鳥取県土整備事務所 計画調査課長

鳥取県 鳥取県土整備事務所 河川砂防課長

林野庁 近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署長

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 鳥取水源森林整備事務所長

(オブザーバー) 国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 副所長 (事務局) 鳥取県 県土整備部 河川課

なお、詳細は別添名簿に記載する。 (随時更新)

第9回千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 第8回千代川圏域県管理河川の減災対策協議会 [同日開催]

日 時: 令和 3 年 6 月 2 日(水) 9 時 30 分~11 時 30 分 [(県) 9 時 30 分~、(国) 10 時 30 分~)]

場 所:Web 会議

議事次第

①千代川圏域県管理河川の減災対策協議会(県) 9:30~10:25

- 1. 挨拶(鳥取県 県土整備部長)
- 2. 議事
 - (1)規約改正について (県資料1)
 - (2)2021年夏の天候の見通しについて (県資料2)
 - (3) 今年度の取組について (県資料3-1、3-2 県参考資料1、2)
 - (4)流域治水プロジェクトについて (県資料4-1、4-2 県参考資料3)
 - (5) その他 (県参考資料4、5、6)

-休憩- (5分)

②千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国) 10:30~11:30

千代川圏域県管理河川の減災対策協議会(県)

(配布資料)

県資料1:千代川圏域県管理河川の減災対策協議会規約(改正案)

県資料2:2021年夏の天候の見通しについて

県資料3-1:千代川圏域県管理河川の減災対策協議会 説明資料

県資料3-2:取組実施状況(各機関ごと)

県資料4:2級水系流域治水プロジェクト(案) (県資料4-1、県資料4-2)

県参考資料1:千代川圏域県管理河川の減災に係る取組方針

県参考資料2:任意地点の最大浸水深の調べ方(浸水ナビ)

県参考資料3:流域治水とは

県参考資料4:災害対策基本法改正の概要

県参考資料5:「河川水位情報」と「警戒レベル」の関係

県参考資料6:流域治水の取組(大路川)

第8回千代川圏域県管理河川の減災対策協議会 出席者

委員

機関名	役職	氏名
鳥取市	危機管理部長(代理)	乾 秀樹
岩美町	総務課長(代理)	村島 一美
若桜町	総務課長(代理)	藤原 祐二
智頭町	総務課長(代理)	國岡 厚志
八頭町	防災室長(代理)	田井 信
国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所	所長	井上 直
気象庁 鳥取地方気象台	台長	弘田 実
鳥取県 危機管理局	危機管理局長	西尾 浩一
鳥取県 企業局	工務課長(代理)	小川 芳郎
鳥取県 県土整備部	県土整備部長	森田 豊充
鳥取県 鳥取県土整備事務所	所長	河田 英明
鳥取県 八頭県土整備事務所	河川砂防課長(代理)	福本 浩二
(オブザーバー)国土交通省 中国地方整 河川部	地域河川課長	藤原 寛

事務局

機関名	役職	氏名
	課長	池田 典男
鳥取県 県土整備部 河川課	課長補佐	大坪 亮太
	係長	加川 昌弘

随行者

随行有		
機関名	役職	氏名
若桜町	専門員	谷口伸一郎
智頭町	係長	國岡 大輔
国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所	河川管理課長	実近 末生
気象庁 鳥取地方気象台	水害対策気象官	河田 耕一
鳥取県 危機管理局	係長	小谷 守正
鳥取県 鳥取県土整備事務所	課長補佐	吉川 達也
鳥取県 八頭県土整備事務所	課長補佐	広坂 信秀

2021年夏の天候の見通しについて

鳥取地方気象台







中国地方3か月予報(6月~8月)

中国地方(山口県を除く) 3か月予報(06月~08月)						
	2021年05月25日14時00分 広島地方気象台 発表					
06月~08月	気温	平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。				
降水量 降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。						
	天候 平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。					
06月	気温	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。				
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。				
07月	天候	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。				
08月	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。				

気温、降	気温、降水量の各階級の確率(%)						
		06月~08月	20	40	40		
気温	中国地方	06月	20	40	40		
×vm	中国40/7	07月	30	30	40		
		08月	30	30	40		
		06月~08月	20	40	40		
降水量	中国地方	06月	20	40	40		
四八里	中国46/7	07月	30	40	30		
		08月	30	30	40		

低い(少ない) 平年並 高い(多い)

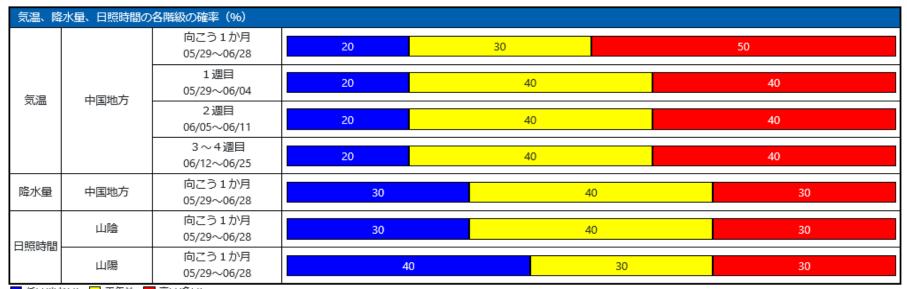
次回発表予定等

次回は2021年06月25日(金)14時00分に発表予定

なお、6月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。 また、暖候期予報として発表していたこの夏(6~8月)の予報については、今回の3か月予報等最新の予報をご利用ください。

中国地方1か月予報(5/29~6/28)

中国地方(山口県を除く) 1 / ነ	月予報(05/29~06/28)			
	2021年05月27日14時30分 広島地方気象台 発表				
向こう1か月	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
05/29~06/28	気温	平均気温は、高い確率50%です。			
1週目 05/29~06/04	気温	1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。			
2週目 06/05~06/11	気温	2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。			
3~4週目 06/12~06/25	気温	3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。			



低い(少ない) 🗌 平年並 📕 高い(多い)

次回発表予定等

次回は2021年06月03日(木)14時30分に発表予定

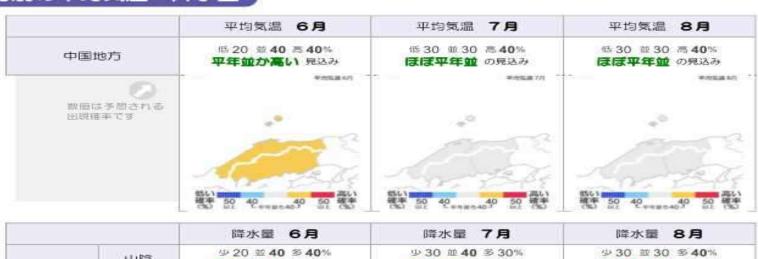
夏の天候の見通し(6月~8月)

予報のポイント

- 6月は暖かい空気に覆われて、気温は平年並か高いでしょう。向こう3か月を 平均した気温も平年並か高い見込みです。
- 6月は前線や湿った空気の影響を受けやすく、降水量は平年並か多い見込みです。向こう3か月を通した降水量も平年並か多い見込みです。

「今回の予報から、1991~2020年の観測値に基づく平年値を使用しています。]

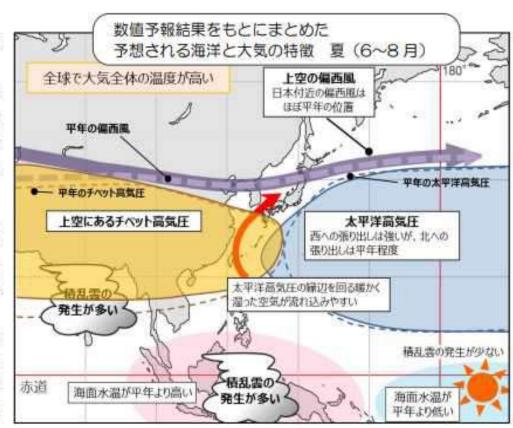
月別の平均気温・降水量





予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大 気全体の温度が高いでしょう。
- 毎面水温は、日付変更線付近では南半球側を中心に平年より低く、その西側で平年より高いことに対応して、インドネシア付近で積乱雲の発生が多いでしょう。
- これらの影響により、上空の編西風は、 日本付近ではほぼ平年の位置を流れる でしょう。太平洋高気圧は西への張り 出しは平年より強いですが、北への張り出しは平年程度でしょう。
- このため、沖縄・奄美では、太平洋高 気圧に覆われやすい時期があるでしょう。また、北・東・西日本では、太平 洋高気圧の縁辺を回る暖かく湿った空 気が流れ込みやすいでしょう。



エルニーニョ/ラニーニャ現象の経過及び予測

エルニーニョ/ラニーニャ現象の経過と予測

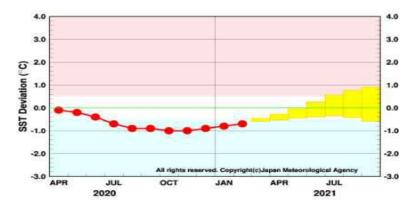


図1 エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の5か月移動平均値

2月までの経過(観測値)を折れ線グラフで、エルニーニョ予測モデルによる予測結果(70%の確率で入ると予想される範囲)をボックスで示している。指数が赤/青の範囲に入っている期間がエルニーニョ/ラニーニャ現象の発生期間である。エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値はその年の前年までの30年間の各月の平均値。

エルニーニョ/ラニーニャ現象の発生確率(予測期間:2021年3月~2021年9月)

年	月	平均期間				
	3月	2021年1月~2021年5月		10	00	
	4月	2021年2月~2021年6月	50 50		50	
	5月	2021年3月~2021年7月		80		20
2021年6月		2021年4月~2021年8月	10	8	0	10
7月	7月	2021年5月~2021年9月	20		70	10
	8月	2021年6月~2021年10月	20	7	70	10
	9月	2021年7月~2021年11月	20		70	10
		■エルニーニョ現象	桑	平常	11ラニー	-二ャ現象

- ・昨年夏から続いているラニーニャ現象は終息に近づいている
- ・ラニーニャ現象は春の間に終息する可能性が高い(80%)
- ・今夏は平常の状態である可能性が高い(70%)

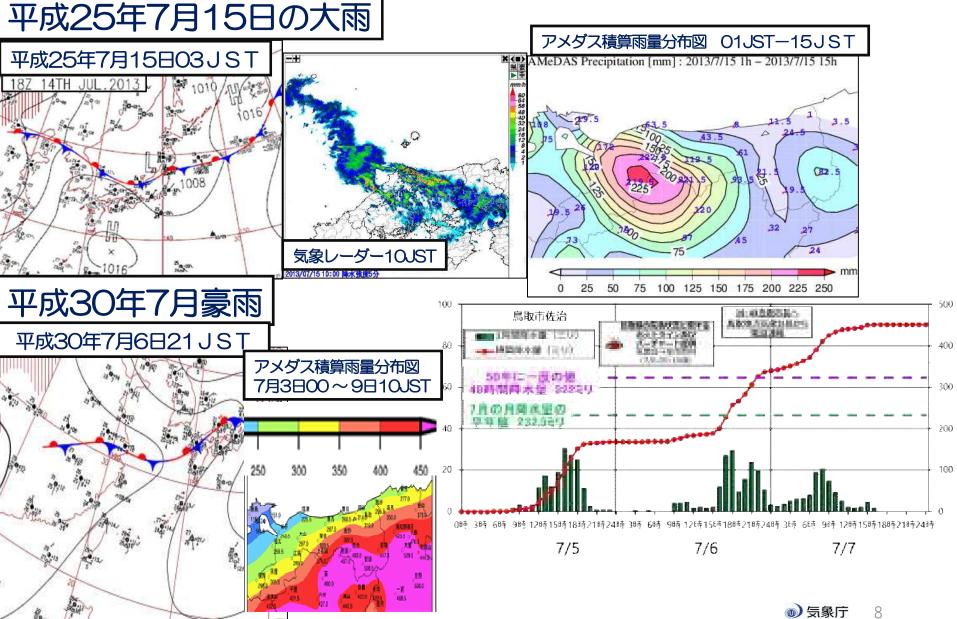
鳥取県で大雨の可能性が高まるとき

鳥取県では主に、

- •梅雨前線(梅雨末期)
- 台風

により、大雨となることが多い。

梅雨前線による大雨



鳥取県の災害特性(台風の進路別による)

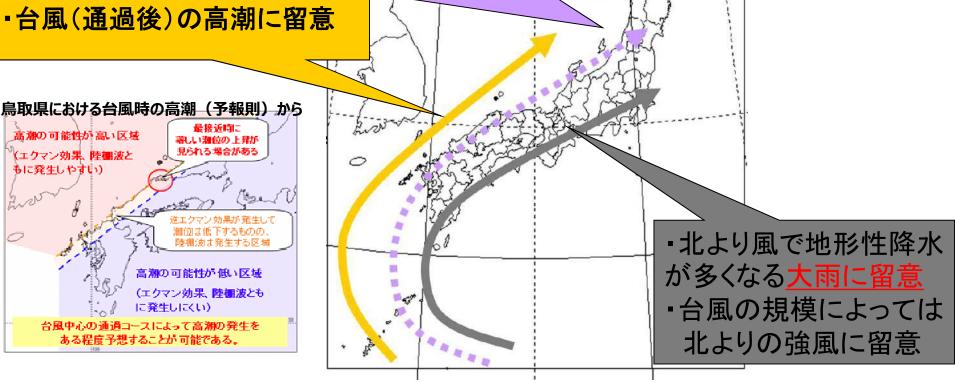
・大雨にも留意

・台風が通過するまでは 南~東の強風、通過後は北~西風の強風に留意

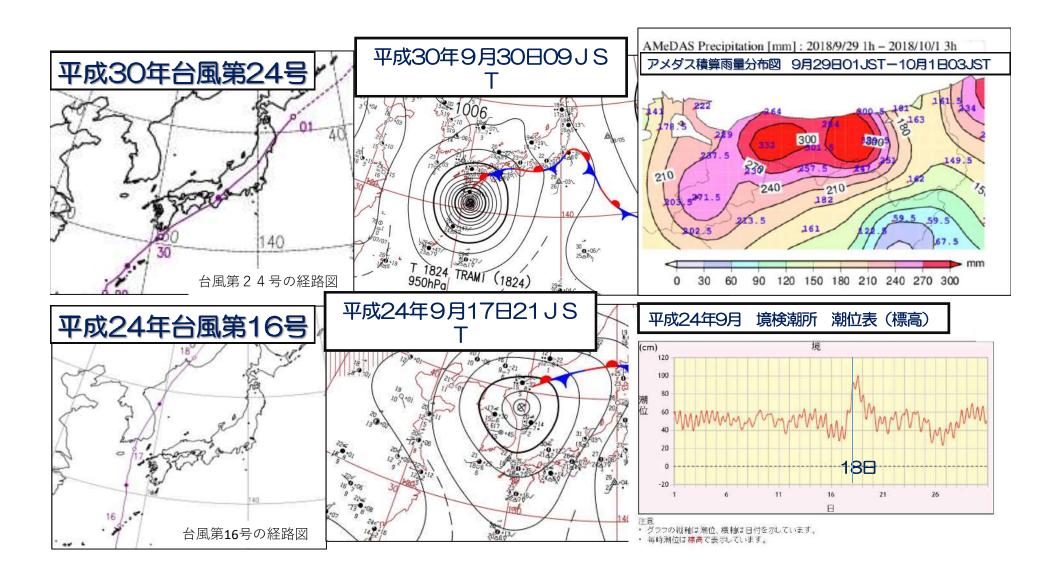
・南よりの強風に留意

・雨は多くない傾向

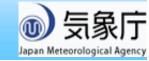
・台風(通過後)の高潮に留意



台風による顕著現象例



ご清聴ありがとうございました





千代川圏域 県管理河川の減災対策協議会 第8回協議会

説明資料

減災のための目標

●5年間で達成すべき目標

河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特性を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となったとっとりらしい防災·減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全·安心で活力ある地域づくり」を目指す。

●達成に向けた取組の柱

- 1. 鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化
- 2. 鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防·河川管理の実施と治水対策
- 3. 住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会・令和元年19号台風を受けての鳥取県水防対策検討会等の結果を踏まえた取組を推進

減災のための取組

ハード対策の主な取組

■鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策

<河川・堤防機能の脆弱性評価を活用したハード対策の推進>

- ■洪水を未然に防ぐためのハード対策の推進
 - ●重点的な流下能力対策等の推進
 - ●計画的な予防保全型維持管理の推進(防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策)
- ■危機管理型ハード対策の推進
 - ●堤防天端の保護を目的とした舗装等の実施

●ソフト対策の主な取組

■鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化

<地域の防災体制づくり>

- ■地域の支え愛防災マップづくりを通した地域防災力向上の取組
- 防災学習、出前講座等の実施
- 現場点検やワークショップを交えた支え愛防災マップの作成支援 支え愛防災マップ等を活用した防災訓練の実施

■住民主体の防災体制づくりの推進

- 防災リーダーの育成
- 自主防災組織等の研修、講師の派遣 自主防災組織への支援と消防団活動への理解促進と両者の連携

■安全で安心して過ごせる避難所の開設

- 必要な資機材の整備及び迅速な配備態勢の構築 家庭における防災備蓄の充実と避難所への持参、持ち寄りの啓発
- 住民による避難所自主開設の体制整備

減災のための取組

●ソフト対策の主な取組

■鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化

<地域の防災体制づくり>

- ■地域の支え愛防災マップづくりを通した地域防災力向上の取組
- <住民の水害に対する心構えと知識を備える方策>
- ■防災学習・教育、意識啓発

 鳥取型防災教育の充実・拡大・促進(体験型・実践型で水害の危険性を学習)
 ・ 水害・土砂災害等に関するシンポジウム
- 地域の防災学習会、出前講座等 ハザード情報のビジュアル化
- 「避難スイッチ」の取組の普及拡大

■行政等の防災力向上

- 行政等の防災力向上研修・訓練 市町村と要配慮者利用施設との情報伝達・共有化の体制づくり

■鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策

<河川・堤防機能の脆弱性評価を活用した水防体制の強化・効率化>

- ■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備
- 重点監視区間の設定と河川監視カメラ・低コストの水位計・量水標等の増設

■水防活動の効率化及び水防体制の強化

- | CTの導入による危険箇所の定点観測と経年データの蓄積
- 点検を担う人材育成(一般住民、防災ボランティア等) 出水時における水防団・市町村との連携・役割分担の検討
- 地域住民からの情報提供等の双方向での連絡体制の構築
- 重要水防箇所の見直しと水防団との共同点検及び水防資機材の確認

減災のための取組

●ソフト対策の主な取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化

- 出水時における水防団・市町村との連携・役割分担の検討(再掲) 地域住民からの情報提供等の双方向での連絡体制の構築(再掲) 重要水防箇所の見直しと水防団との共同点検及び水防資機材の確認(再掲) 水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)
- 水防団間での連携・協力に関する検討
- 総合防災訓練・水防講習会の実施 河川防災ステーションの活用

<平成29年九州北部豪雨や台風豪雨を踏まえた警戒避難体制の整備・対策>

■既存施設の運用・警戒避難体制の整備・対策等に関する取組

- 排水施設·資機材及び樋門等の確実な運用と警戒避難体制の整備
- 内水を含めた浸水常襲地区における排水対策の推進
- ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施 ダムの柔軟な運用について、操作規則等の総点検の実施

■流域一体となった総合的な流木対策の推進

流木による閉塞トラブルスポットの抽出と総合的な流木対策の実施

- ■**ダム放流の安全・避難対策** 利水調整関係者協議と事前放流の積極的実施に関する利水調整
- 流入量予測の精度向上
- 浸水想定区域図の作成、 公表周知
- 水位計、ライブカメラの設置、警報車からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める
- 堆砂対策の推進
- ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民周知 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難訓練の実施

減災のための取組

●ソフト対策の主な取組

■鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策

<河川・堤防機能の脆弱性評価を活用した水防体制の強化・効率化>

- ■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項
- 市町村庁舎や災害拠点病院等の施設管理者への情報伝達の充実
- 市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策(耐水化、非常用発電等の整備)

■住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

<水害リスク情報等の共有>

■水位周知河川等の水害リスク情報等の共有● 想定最大規模降雨の洪水浸水想定区域等の公表

- 水位周知河川等の指定促進
- 浸水実績等の周知

■水位周知河川等に指定されていない河川の水害リスク情報等の共有

- 「鳥取方式」洪水浸水リスク図による、想定される浸水の区域・浸水深の目安等の情報提供
- 浸水実績等の周知

■県内河川の現状を踏まえた避難判断等基準の検討

- 県の実情を踏まえた早めの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難指示等の目安の検討

<円滑かつ迅速な避難の実現>

■住民等の主体的な避難の促進

- 住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討
- ハザードマップの電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討
- スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい河川情報画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進

減災のための取組

リンフト対策の主な取組

■住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

<円滑かつ迅速な避難の実現>

■住民等の主体的な避難の促進

- 県管理水位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、訓練の実施 各家庭ごとの「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な避難を促すわかりやすい避難情報の伝達文の検討

- 河川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV)
- プッシュ型の洪水情報の発信
- 防災サインの普及促進
- 重点監視区間の設定と河川監視カメラ・水位計・量水標等の増設(再掲)

■要配慮者利用施設における確実な避難

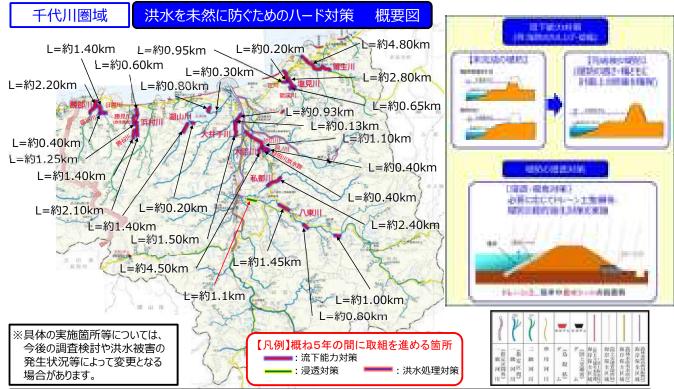
- 要配慮者利用施設管理者への説明会実施
- 避難確保計画の作成や避難訓練実施の支援

■市町村長による避難指示等の適切な発令のための環境整備等

- 氾濫の拡大が時系列的にわかるシミュレーションの提供、公開 避難指示等の目安となる河川水位情報の自動配信
- 河川管理者と市町村長とのホットラインの定着
- 過去の洪水時の雨量と水位の関係整理 県管理河川の水位予測の検討
- ホームページやデータ放送等のわかりやすい河川情報画面への改良や説明の表示(再掲)
- 県管理水位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への周知、 訓練の実施(再掲)
- 河川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV)(再掲)
- プッシュ型の洪水情報の発信(再掲)
- 重点監視区間の設定と河川監視カメラ・水位計・量水標等の増設(再掲)

取組1 河川・堤防機能の脆弱性評価を活用したハード対策の推進

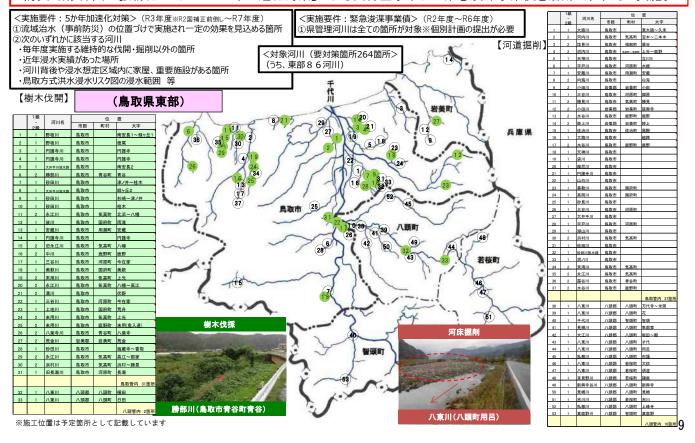
河川整備計画に基づき、治水対策を着実に推進していく。



〇塩見川(鳥取市福部町細川付近)における流下能力対策工事(L=約1.0km)を重点的に実施中。 〇八東川(八頭町石田百井付近)における堤防の浸透対策を検討(設計)中。

取組2 樹木伐採・河道掘削の推進

河川の氾濫リスクの軽減を目的として、治水安全度を計画的に向上させるために必要な土砂の掘削や樹木の伐採を 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」による交付金事業及び緊急浚渫事業債を活用し集中的に実施。



取組3 想定最大規模降雨に対する洪水浸水想定区域等の公表

・水位周知河川等20河川について、 想定最大規模降雨に対する洪水浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸侵食)等について、破堤 点毎に時系列で分かるシミュレーション結果を「浸水ナビ」により令和2年度から公表。



取組4 地域の支え愛マップづくりを通した地域防災力向上

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響があったが、次のような取組みを実施している。 また、今年度も引続き取組みを進める予定。

(1)支え愛マップづくりインストラクター養成研修

【対象者】市町村社会福祉協議会職員、市町村職員

【内 容】市町村及び社協職員等を対象とした研修会を実施し、マップづくりの意義やノウハウを学び、各地区においてマップづくりを広めることで災害に強い地域づくりを推進する。 今年度も開催予定。「現在開催日程検討中]

【R2実績】2カ所で開催。[8/4 県社会福祉協議会、11/19 倉吉市社会福祉協議会]

②支え愛マップづくりの取組状況

【目 標】40地区 【R2実績】新たに40地区が作成

③その他

【取組み時に活用いただきたい動画】~コロナ禍における支え愛マップづくり~ (県社協作成)https://youtu.be/4ByGD J2V o (YouTubeにて公開)



取組状況





救急救命が必要な場合を見越しての訓練状況



⇒支え愛マップづくりに際し、水害・土砂災害に対する安全な避難場所等の確保などを防災部局・土木 部局が連携して助言するとともに、マップを活用した訓練を行い、地域防災力の強化を図っていく。

取組5 要配慮者利用施設の方々の迅速な避難の実現

- ・水防法改正(H29改正)により、洪水時に、要配慮者利用施設(病院、福祉施設、学校)の方々の迅速な避難を実現するため、要配慮者利用施設においては、避難確保計画の策定、避難訓練の実施が義務付けられた。
 - ⇒ H28~H30年度にかけて、施設管理者、市町村の防災担当者に対して、法令の規定、計画策定・避難訓練の意義、作成例などの説明会を開催し、R1年度は個別に相談のあった市町村で説明会を実施した。R2年度は社会福祉施設のうち、浸水リスクの高い箇所に立地している施設に対して避難誘導に関する緊急点検を行った
 - ⇒ 引き続き、市町村と連携し避難確保計画作成等に係る助言等を行いなが ら、避難確保計画の策定、避難訓練を促進していく。
 - ⇒ <u>各市町村におかれては、各市町村の地域防災計画に施設名称等が記載さ</u>れることが義務付けの根拠となるので、早急な対応をお願いする。

【対応日程】

R2年度中 対象となる施設の整理、

地域防災計画への施設名等の記載

R3年度中 対象施設の避難確保計画の完成(市町村への提出)

要配慮者利用施設の避難確保計画の緊急点検 (R2年7月~8月)

○令和2年7月豪雨に係る、熊本県球磨川流域の特別養護老人ホーム「千寿園」の 被災を受け、県内の社会福祉施設のうち、バックウォーターの影響が想定され、

浸水リスクの高い施設(入所系39、通所系38)が作成している避難確保計画に ついて、避難や避難支援が確実に実施できる内容かどうかを確認するため、県関係課と 市町村担当課が連携して**緊急点検**を実施、8月31日までに点検を完了。

- 〇各施設に対しては、**想定最大浸水深**(1000年に1度の確率規模の降雨に対応)を考慮し、
- ・想定に対応した垂直避難、または安全な水平避難先の選定
- ・避難するタイミング(避難スイッチ)の確認
- ・避難に係る支援要員の確保や所要時間を見積もっておくこと

などの取り急ぎ点検時における助言に基づく対応を始めていただくとともに、 避難確保計画についても必要な見直しを行っていただくこととしている。



7月22日(水)の調査状況写真







7月22日

養護老人ホームなごみ苑での緊急点検の様子 (千代川の想定最大浸水深:約2m)

- ※鳥取大学柗見名誉教授にも同行していただき、 助言をいただいた。
 - ⇒避難準備情報(レベル3)で確実に避難を 開始できるよう、避難のタイミングと体制を明確 にすること等

13

取組6 要配慮者利用施設の方々の迅速な避難の実現

- ◇要配慮者利用施設の浸水対策(国土交通省ホームページ)
 - 要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成の手引き(洪水・内水・高潮・津波)
 - 医療施設等に係る避難確保計画作成の手引き
 - 計画作成のひな形
 - ・水害・土砂災害に係る要配慮者利用施設における避難計画点検マニュアル http://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/bousai-gensai-suibou02.html
- ◇要配慮者利用施設における避難に関する計画作成の事例集(内閣府ホームページ) http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/pdf/hinanjireishu.pdf
- ◇避難確保計画について(米子市ホームページ)

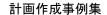
http://www.city.yonago.lg.jp/23028.htm

作成の手引き











米子市ホームページ(抜粋)



取組7 あんしんトリピーメール・鳥取県防災アプリ「あんしんトリピーなび」

鳥取県防災メール・アプリを活用しましょう!

古鳥取県 お問い合わせ先

鳥取県危機管理局 危機対策・情報課 電話 (0857)26-7950/FAX (0857)26-8137

防災メール

※通信料が別途かかります

O

防災アプリ

防災ポータルで鳥取県の様々な危機管理情報を把握できます!

欲しい情報が選べま

- ○気象警報·注意報 ○地震·津波情報
- ○防災·危機管理情報 ○公共交通情報
- ○道路情報 ○ライフライン情報
- ○生活·健康情報 ○防犯情報 など
- ⋂ 次の登録用アドレスに、件名・本文を 入力せずにメールを送信

e-tottori-safe@xpressmail.jp

② 返信メールに記載された案内に沿って 登録(登録内容の変更等はいつでも可能)

携帯電話等に防災・防犯など安 全・安心に関する情報をメールで お届けしますので、災害時等の情 報入手に大変有効なツールの一 つです。登録無料ですので、より 多くの皆さんの登録・利用をお待 ちしています。







9外国語に対応しています。 避難情報や警報など いち早く届く!

令和2年3月23日から多言語化を開始!



最寄りの避難所への 経路を案内!



河川や道路状況が ライブ画像でわかる!

とリネット「鳥取県の危機管理ポータルサイト」や「あん しんトリピーメール」、「避難所・避難場所」、「河川・道路ラ イブカメラ」の情報など、多様なコンテンツに分散した鳥 取県内の危機管理関連情報をこのアプリで丸ごとご活 用ください。



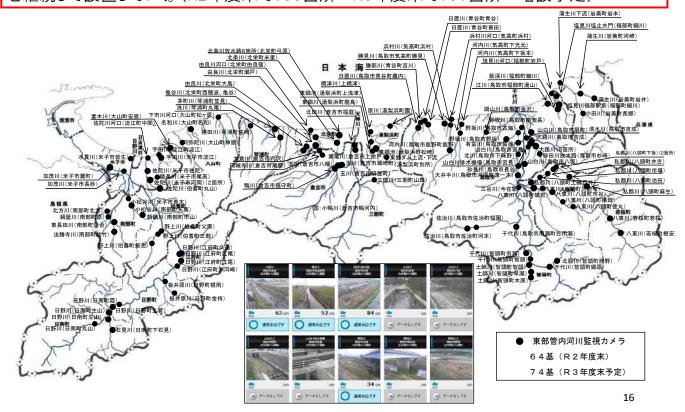






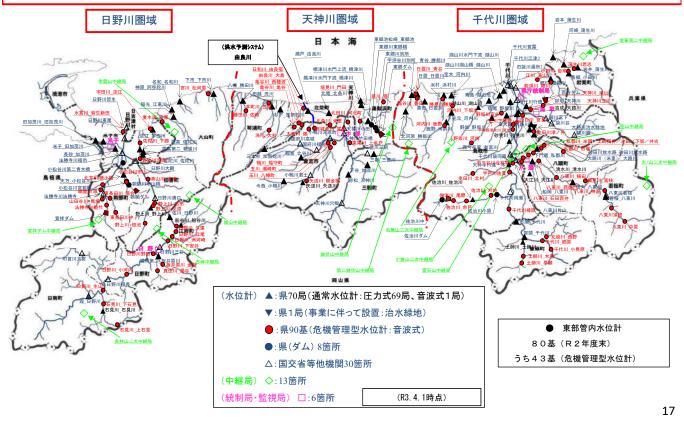
取組8 河川監視カメラの増設

河川背後地の状況や簡易浸水想定の結果等を踏まえ、河川監視カメラや量水標、水位計等 を継続して設置していく。(R2年度末で133箇所⇒R3年度末で151箇所へ増設予定)



取組9 水位計の増設

重要水防区域や溢水の恐れのある箇所、溢水により市役所、役場が浸水する恐れのある箇所等、水位計等を設置していく。(R2年度末で160箇所⇒R3年度末で166箇所へ増設予定)



洪水時に特化した低コストの水位計

洪水時に特化した低コストな水位計(概要)

【目的】

洪水時のみの水位観測に特化した低コストな水位計を開発し、都道府県や市町村が管理する中小河川等への普及を促進し、水位観測網の充実を図る。

【特徴】

- 長期間メンテナンスフリー (無給電で5年以上稼働)
- 省スペース(小型化) (橋梁等へ容易に設置が可能)
- 初期コストの低減

(洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減) (機器設置費用は、100万円/台以下)

○ 維持管理コストの低減

(洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術とあわせ通信コストを縮減)



水位計設置状況

観測装置設置状況

現在の水位計設置例

洪水時に特化した低コストな水位計





低コスト型水位計の設置例

取組10 流域一体となった総合的な流木対策

- ▶ 流木の堆積、閉塞により河川等が氾濫し、流域に被害が及ぶ危険性が高い箇所をトラブルスポットとして抽出した。
- ▶ 森林、砂防、ため池、河川等の流木対策を組み合わせ、経済的・効果的な計画を検討し、「流域一体となった総合的な流木対策計画」を策定した。
- ▶「流域一体となった総合的な流木対策計画」では、対策完了に要する期間毎にハード対策を「短期対策」「中長期対策」と整理し、ハード対策完了までの対策として「ソフト対策」を計画した。
- ▶ 令和3年度は、地域の迅速な避難に活用できるようトラブルスポットのある河川に監視カメラを設置するとともに、砂防施設への流木補足施設の設置等の対策も進める。

「流域一体となった総合的な流木対策計画」における各対策

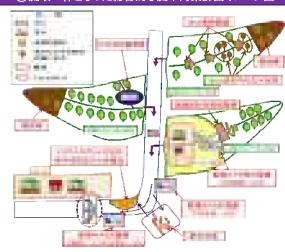
		河川の対策	砂防の対策	ため池の対策	森林の対策
ルート。 ①短期対策		河道掘削	砂防TrSの対策	ため池TrSの対策	森林整備(間伐等)
	②中長期対策	流木捕捉施設。 橋梁架替等	新規砂が爆堤 の整備等	ため池TrSの対策	森林整備 (間伐等)
G	リンフト対策	監視カメラの設置	-	ハヴェート・マッフ。作成 経難訓練等	ガイドラインの作成

※Trs:トラブルスポット

【トラブルスポットとは】

流木の堆積や河道閉塞に伴い洪水氾濫被害等が拡大する恐れがあり、近隣に重要保全対象施設(役場、避難所、小学校、要配慮者施設、病院等)が存在する箇所

②流域一体となった総合的な流木対策計画イメージ図



19

取組11 ダム放流に関する安全・避難対策

国・県が協力し合い令和3年度にダム下流の浸水想定区域図を公表予定。今後住民説明会等、避難につながる様々な取組を実施していくこととしているが、実現できることから早急に実施していく。

<令和3年度の取組>

取組①:安全・避難対策

・避難体制整備の取組として、説明会・避難訓練、ダム浸水想 定の周知を進めていく。

取組②:既存ダムの洪水調節機能強化

・県内の一級、二級水系河川のすべてのダムにおいて、 治水協定に基づく事前放流を実施し、洪水調節機能 強化を図る。



ダム機能・操作の周知及び避難訓練の実施

避難体制の確立に向けて、各ダムにおいて、ダム機能や放流操作に係る周知(行政職員講習会・住民説明会等)を実施するとともに、ダム放流を想定した避難訓練を行う。

く住民周知(住民説明会・チラシ配布)の実施>

(鳥取市)

日時 : 平成31年4月23日(火)

内容: 佐治川ダム下流(佐治・用瀬)を対象とした説明会を実施

(ダム放流を想定した図上避難訓練)

(佐治川ダム)加瀬木地区

日時 : 令和元年5月19日(日)

内容 : ダム下流代表地区でダム放流を想定した図上避難訓練

(参加者)住民31名、市、県

・県がダムの機能及び限界を説明

・図上訓練は避難所・経路の土砂災害も考慮し、タイミングや経路を話合い

・今後、避難所まで避難する訓練、支え愛マップづくり(共助体制構築)を行う予定

(ダムと河川にかかる地域防災の勉強

(百谷ダム)稲葉山地区

日時 : 令和元年6月27日(木)

内容 : 豪雨時のダム影響や防災情報など地域防災の勉強会

(参加者)住民23名、市、県

・ダムの機能及び豪雨時の水位、放流など説明

・下流河川(天神川)のリスク情報などの説明にあわせ、河道堆積など 地区住民が普段から心配と感じている情報を共有

ナンジョップベノリナスドナガノサンタの外かる

(佐治川ダム)河本地区

日時 : 令和元年8月6日(火)

内容 : ダム下流表地区で支え愛マップづくりを通じたダム放流の勉強会

(参加者)地区住民、社協、市、県・ダムの機能及び限界、水害等のリスクを説明

・避難を想定し、支え愛マップづくりを通じて地域防災を勉強

地域の防災訓練でダム放流の勉強会>

(佐治川ダム)別府地区

日時 : 令和元年10月27日(日)

内容 : ダム下流地区の防災訓練でダム放流の勉強会

(参加者)住民60名、市、県

・ダムの機能及び限界、水害等のリスクを説明

図上避難訓練(佐治川ダム_加瀬木地区) (令和元5月19日開催)

住民との勉強会(百谷ダム_稲葉山地区) (令和元年6月27日開催)

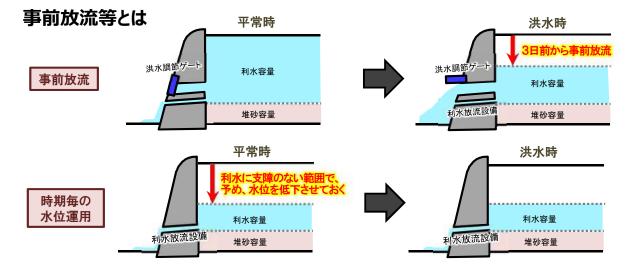
「今和元10月27日開催)

※R2年度はコロナの影響により未実施。R3年度は実情を踏まえた上で、工夫し実施していく。

鳥取県河川課

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

- ◎ 令和元年東日本台風を受け、令和元年12月、政府は、『既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針』を打ち出しました。これにより、
 - ①全国全ての既存ダム(治水ダム・利水ダムともに)で『事前放流等』を実施する。
 - ②水系毎に、河川管理者・ダム管理者・関係利水者が一同で、事前放流等 の方法等を記した<u>『治水協定』</u>を締結する。 ことになりました。
- ◎ 鳥取県内では、全てのダムにおいて治水協定を締結し、事前放流による洪水調 節機能の強化を図っています。



2

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

			ダムの諸元			事前放流	事前放流の内容※注	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量	
千代川	殿ダム	国交省	1,120万m³	550万m³	570万m³	307mm	311万m³	
,,	佐治川ダム	県	188万m³	147.6万m³	40.4万m³	別途運用	22.8万m³	
"	茗荷谷ダム	企業局	40万m³	-	40万m³	236mm	27.7万m³	
"	三滝ダム	中電	15.8万m³	-	15.8万m³	142mm	14.7万m³	
"	百谷ダム	県	24.2万m³	20万m³	4.2万m³	_	4.2万m³	

- (※注) ① 累計降雨量が<u>基準降雨量に到達することが予想される場合</u>、3 日間で、<u>洪水調節可能容量</u> の範囲内で事前放流を実施する。
 - ② 百谷ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

23

鳥取県河川課

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組



取組12 安全・確実な住民避難につなげるため防災対策

令和元年東日本台風(19号)を踏まえ、安全・確実な住民避難につなげるため防災対策 「水防対策検討会」(主にハード対策)と「防災避難対策検討会」(主にソフト対策)を設置。

【台風19号で甚大な被害が発生】



•阿武隈川、千曲 川など71河川、 140箇所で堤 防決壊が発生 ・「バックウォータ 現象」や「越水」に より堤防が決壊

阿武隈川:福島県須賀川市(令和元年10月13日)

【水防対策検討会·防災避難対策検討会設置】

<水防対策検討会>

・「治水施設の機能向上に より、洪水氾濫の軽減等を 図りつつ、効果的な水防活 動等により、いかに安全な 住民避難を実現させるか」 という観点で検討



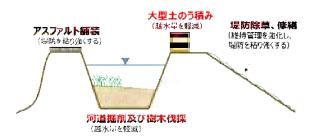
<防災避難対策検討会>

- ・次の項目を主要な柱として議論
- ①「積極的な避難」をこれからの常識とするための取組
- ・避難所環境の整備、避難情報・避難行動の理解促進
- ②被害の広域化、ライフラインの切断への対処
- ③ハザードエリアを踏まえた避難の体制整備

今後の取組方針

【水防対策(ハード対策)】

- <短期的取組>
- ①堤防強化(堤防舗装、管理強化、水防体制強化)
- ②バックウォーター対策(河道掘削及び樹木伐採)
- ③河川情報(河川監視カメラ・水位計)の発信強化 等



【防災避難対策(ソフト対策)】

- あらゆる人が積極的に避難行動を取ることが 常識となるよう意識啓発や情報提供を行う
- あらゆる人が安全に避難でき、健康が維持でき る避難所環境を確保していく など
 - P30避難スイッチモデル事業参照

25

安全・確実な住民避難につなげるため防災対策

千代川圏域における取組状況(R3年度以降も継続実施)

【防災避難対策(ソフト対策)】

小学校における防災教育の実施(令和2年9月10日)

県の防災の取組や ハザードマップを活 用した命を守る行 動の大切さについ て講演。

> 美保南小4年生 92名



東部建設業協会と鳥取県土整備事務所合同水防訓練(令和2年6月5日)



災害協定に基づい た応急対策業務と して、浸水被害防 止のための実践的 訓練を実施。

【水防対策(ハード対策)】

●堤防舗装の実施 R2年度に引き続き バックウォーター区間、 重要水防区域Aにお ける堤防舗装を実施。



R2施工箇所:大路川(鳥取市)等

26

安全・確実な住民避難につなげるため防災対策

【参考】天神川圏域における取組状況(R3年度以降も継続実施)

【防災避難対策(ソフト対策)】

小学校における防災教育の実施(令和2年度3校)

- 上級生を対象に洪水や土砂災害が発生すると予想又は発生し た時の行動について講義を実施。
- ハザードマップを確認し、家族間でも避難に関する話をすることの 大切さを伝えた。



【水防対策(ハード対策)】

●堤防舗装の実施 R2年度に引き続き バックウォーター区間、 重要水防区域Aにお



R2施工箇所:矢送川(倉吉市)等

27

安全・確実な住民避難につなげるため防災対策

【参考】日野川圏域における取組状況(R3年度以降も継続実施)

【防災避難対策(ソフト対策)】

「土のう作り講習会」(小松谷川:南部町)



地域住民、建設業協会 県及び町職員合同実施

- ・土のう作り、積み方講習
- ・越水危険個所に事前に 土のうの設置

「まるごとまちごとハザードマップ(想定浸水表示板の設置)」(南部町)

- 〈主な設置箇所〉
- ■指定避難所 「総合福祉センターしあわせ」 「健康管理センターすこやか」 「西伯小学校」等
- ■法勝寺中学校入口
- ■対策本部の「町庁舎」
- ■最寄避難所の公民館·集会所等、
- ■主要道路の国道県道の電柱・標識等

「防災教育」の実施

令和2年度の実施状況

【防災教育】 岸本小、会見小 【河川(砂防)学習会】八郷小(佐陀川)、大山公民館大山分館(坊領川)

事業説明会を活用した 防災学習(伯耆町)

岸本小(防災教育) ※岸本小は国と県で合同実施

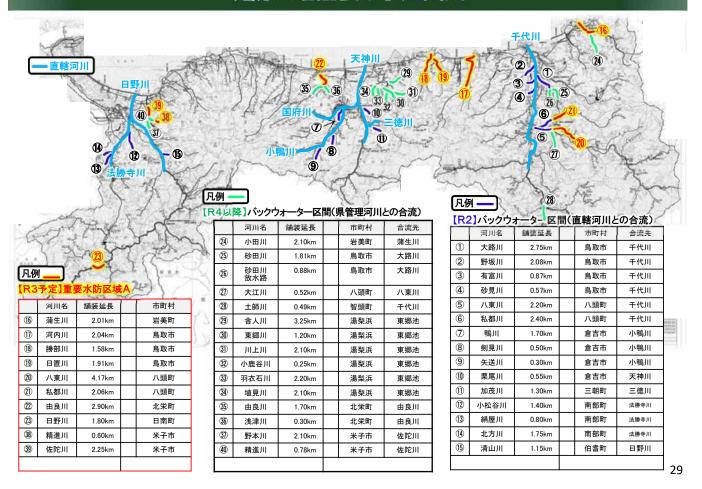




R2施工箇所:絹谷川(南部町)等

28

堤防天端舗装の予定箇所



避難スイッチモデル事業(令和3年度)

避難スイッチとは?

避難行動を起こすきっかけとする目安を、住民自ら決める取り組み

※令和元年度「防災避難対策検討会」の提言を受け、R2年度から実施。

【スイッチの具体例】

①情報系: (市町村が発出する) 避難準備・高齢者等避難開始

②目で見る身近な異変:〇〇川の水位が避難判断水位に到達

③人からの呼びかけ:LINEによる〇〇さんからの連絡

令和3年度の変更点(対象の拡大)

大字単位を範囲とした地区のほか、浸水想定区域内等にある要配慮者利用施設を対象とする。

- ※市町村には掘り起こしや実施協力を依頼。また、施設所管課にも掘り起こしの協力を依頼。
- ※大路川流域の自治会や要配慮者利用施設も対象とし、取組を展開。(鳥取市とも連携)

事業実施の流れ

- ①基本情報の整理(地区の概要、懸念されるハザード等)⇒②実施地区の決定
- ⇒③ワークショップの開催 ⇒④まちあるきの実施 ⇒⑤避難スイッチの決定 ⇒⑥訓練等による検証

【令和3年度政策戦略事業予算要求:積極的避難推進事業(避難スイッチモデル事業)】 講師旅費・謝金(3地区実施分)1,224千円/取組成果の取りまとめ(冊子)100千円30

取組13 鳥取市における確実な避難につなげる事業

鳥取市防災ラジオ

災害時などに市が緊急情報を発信した際、FM鳥取(82.5MHz)の電波を利用し、 自動で起動するラジオです。 ※ 平常時は一般のラジオとして使用可能

導入の目的

防災行政無線は屋内などで聞き取りづらいとの声があり、また、テレビ やメールなど個人で情報を取得するツールを持たず緊急情報の取得に不 安のある方(情報勞者)に対して、新たな情報伝達手段を整備する必要

鳥取市防災ラジオの特徴

(1) 自動起動機能

⇒災害時などに防災行政無線で発信する<mark>緊急情報を自動で放送</mark> ※自動起動可能な場所は、FM鳥取の可聴エリアに依存します。

(2) 持ち運びが可能

⇒垂直避難時の部屋移動、避難所への移動に対応

(3)ライトの点灯機能

⇒緊急情報の受信時にライトが自動で点灯し、光でお知らせ

(4) 緊急放送の録音機能

⇒放送を聞き逃した時など、自動録音された緊急情報を再生可能

放送される内容

J-ALERT情報 (緊急地震速報・国民保護情報等)

避難情報

訓練放送等

システム概要図



《実際の写真》



【機器詳細】 令和2年度販売実績 13,047台

販売価格 税込2,000円(機器の約4/5を市費負担) (販売店) 市内16店舗 ※令和3年度

製 造 者 リズム株式会社





31

取組14 岩美町における減災につなげる事業

避難所開設の訓練を実施するとともに、新型コロナウイル ス感染症を踏まえた運営の仕方やハザードマップについ ての説明、段ボールベッドの組立体験等を実施しました。





岩美町洪水ハザードマップ(令和元年12月作成)

取組15 若桜町における減災につなげる事業

◎令和2年度実績

- ▶ つく米地区(氷ノ山スキー場エリア)裏山診断
- ▶ 支え愛マップの見直し支援(15集落)
- ▶ 防災士の資格取得 3名
- ▶ 自主防災組織等の結成及び研修支援、ハザードマップの説明
- ▶ 避難所開設のための新型コロナウイルス感染症対策物品の整備
- ▶ 非常持出袋の更新、全世帯への配布
- ➤ 避難所運営訓練の実施
- ▶ 避難所初動運営キットの配置
- > 小学生向け防災学習の実施
- ▶ 屋堂羅地内に量水標作成
- ▶ 消防団との出水時の役割分担等についての意見交換会
- ▶ 医療・福祉施設関係者との連絡会議の開催
- ▶ 「避難スイッチ」モデル事業ワークショップ
- ▶ 福祉施設関係者への避難確保計画等の聞取り調査と検証

33

◎令和2年度実績



屋堂羅川量水標作成

河川監視カメラ(根安地内八東川)

取組16 智頭町における支え愛マップづくりを通した地域防災力向上

①支え愛マップづくりの周知(57集落作成済/87集落)

未実施集落の世話人へ支え愛マップづくりの意義を説明し、集落説明会を開催する。

平成30年度:7集落、3団体 令和元年度:9集落 令和2年度:新型コロナにより未実施

②支え愛マップづくりの継続

既実施集落の支え愛マップ更新や避難訓練などを通して住民が現況を把握し、効果的な避難活動 につなげる。平成30年度:10集落、1地区 令和元年度:12集落、1地区 令和2年度:未実施







智頭町(防災担当・福祉担当)、智頭町社会福祉協議会、鳥取県、鳥取県社会福祉協議会など、様々な団体が多角的な視点で作成フォローしている。

取組17 八頭町における減災につなげる事業



1. 主な取組み状況

令和2年度については、防災学習の充実と教育の推進を 図るため、2小学校で防災学習会を行いました。

主に洪水・河川水位、土砂災害及び避難所運営について学習いたしました。

子ども達の積極的な意見・質問を受けました。

2. 今後、力を入れたい取組み

コロナ禍で災害が発生した場合、避難所運営が最も重要な業務となることから、いつでも職員が感染対策など的確な判断・行動が実施できるように避難所運営研修に力を入れて行きたいと考えています。





п
7
2
2
G
U
•
О
Ξ
F
ĸ,
ıl
Ħ
2
۲.
Ξ.
Н
ц
ė
7
٠
ü
'n
٠
_

〇概ね5年で実施する取組								県資料3-2
都	帯に関係	化性物		H30までに 消除 (H29、H30) N巻三	##	群年政治 H31. R1	令和2年底実績 R2	4 2 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
(3) 平成29年九州北部豪雨や台風豪雨を踏まえた警戒避難体制の整備・対策	した警戒延鵝体制の整備・対策							
漫水常襲地区等における排水結婚:資機材及 び機門等の確実な運用と警戒避難体制の整 備、排水対策の推進	及 排水施股・資機均及 UG銀門等の確実な選用と服成避難体制の整備	鳥取県	排水ポンプ車講習会(県職員) 県・市による豪雨対応の振り返り	浸水を想定した鳥取県中部地区総合水 防訓練(図上訓練、実助訓練等) 機門の電助化による負担軽減の検討	等品帽車とて半水俳	経門等の使用者研修の実施 排水施設の使用訓練実施 排水ポンプ車購入(東部)	訓練の実施	訓練の実施
ダムの柔軟な運用について、操作規則等の 総点検の実施	タムの柔軟な運用について、操作規則等の総点核の実施	鳥取県	事前放流の検討	1	事前放流の運用開始(佐治川ダム)	事前放流の運用開始 (R1:質样ダム)	治水協定の締結(1級・2級)	協定に基づき運用
ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討 及び訓練の実施	* ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施	鳥取県	ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の 検討	ホットライン基準の検討	ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の 検討	ダム放流情報の伝達方法訓練の実施	ダム放流情報の伝達方法や警戒体制の 見直し検討	ダム放流情報の伝達方法や警戒体制の 見直しについて継続検討、訓練の実施
流木による開塞トラブルスポットの抽出と 代表流域における総合的な流木対策の検討	流木による開塞トラブルスポットの抽出と代表流域における総合的な流木対策の検討	鳥取県	流木による閉塞トラブ	淡木による 閉塞トラブルスポットの抽出と代表流域における総合的な淡木対策の検討	合的な流木対策の検討	全トラブルスポットの対策検討	河川・砂防・ため池・森林の対策計画 (短摘・中長類・ソフト) 作成	対策計画に沿って対応
利水間整関係者協議と事前放流の積極的実施に関する利水調整	利水管理者との調整協議	鳥取県	事前放流の検討	1	事前放流の運用開始(佐治川ダム)	事前放流の運用開始 (R1:質样ダム)	治水協定の締結 (1級・2級)	協定に基づき運用
流入量予測の精度向上	流入量予測の精度向上	鳥取県	流入量予測システム構築業務着手 (資祥ダム)	1	流入量予測システム構築業務着手 (佐治川ダム)	流入予測システム構築	流入予測システム導入(佐治川ダム、 資祥ダム)	流入予 測システム運用開始
ダム下流の浸水想定区域図の作成	浸水想定区域図の作成	鳥取県	I	1	1	漫水想定図の作成	漫水想定区域図の圏知	漫水想定区域図の周知
水位計、ライブカメラの設置、警報車から のアナウンス改善等新たな情報発信方法の 検討	 水位計、ライブカメラの設置、警報車からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討	- 開政県	Ι	_	_	ライブ映像の配信(東郷ダム)、警報 車からのアナウンスの改善等実施	ı	ダム下流河川への監視カメラの設置 ダム放洗掲示板の設置検討
ダム放流時の安全な避難体制について関係 者で協議を進める	・ ダム放売時の安全な避難体制について関係者で協議を進める	鳥取県	I	-	1	避難体制構築に向け、支え愛マップ作 成、避難訓練等を実施	住民説明会の実施	住民説明会、避難訓練の実施
規制の策な必需	規制の紙な会費	鳥取県	1	1	I	堆砂対策検討着手(佐治川ダム)	維続検討(佐治川ダム)	継続検討(佐治川ダム)
ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民 周知	タム機能、ダムの放流によるリスクの住民間知	鳥取県	1	1	I	下流域の地元説明会の実施	住民説明会の実施	住民説明会の継続実施
防災リーダー育成、避難タイムライン作 成、避難訓練の実施	避難訓練等の実施	鳥取県	_	_	-	避難訓練 (図上訓練等) の実施	住民説明会の実施	住民説明会、遅難訓練の実施
3. 住民の遊離を投す島取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供(1) 水害リスク情報等の共有	書リスク情報等の提供							
想定最大規模の洪水浸水憩定区域等の提供	器定最大規模の決水浸水器定区域等の提供		加茂川・旧加茂川・小松谷川・佐陀 川・精進川・日野川・板井原川につい て提供	東郷池・三徳川・由良川について提供	大路川・野坂川・勝部川・日龍川・猫 生川・小田川・塩見川・河内川・八東 川・私都川について提供	_	ı	1
水位周知河川等の指定促進	水位周知河川等の指定促進	鳥取県	小松谷川の追加	_	_	_	_	-
浸水実績等の周知	浸水実績・想定リスク図等の情報提供	鳥取県	浸水リスク図の公表 (残13河川)	浸水リスク図の公表(全河川)	浸水リスク図の公表(全河川)	残13河川のリスク図の提供	浸水リスク図の周知	浸水リスク図の周知
鳥取方式の洪水浸水リスク図による概ねの 浸水範囲等の情報提供	水位周知河川以外について、鳥取方式の洪水浸水リスク図によるの浸水範囲等の情報提供	鳥取県	浸水リスク図の公表 (残13河川)	浸水リスク図の公表(全河川)	浸水リスク図の公表(全河川)	残13河川のリスク図の提供	浸水リスク図の周知	浸水リスク図の周知
県の実情を踏まえた早めの避難判断基準 (水位)の運用	児直 し水位の実運用及び課題検証	鳥取県		継続運用		維続運用	維統運用	継続運用
水位周知河川等に指定されていない河川の 避難勧告等の日安(開量情報、路開指標等)の検討	大位原出河川等に指定されていない河川の避難勧告等の目安 (馬皇情報、降雨指揮等)の検討	鳥取県		未着手		未着手	字田川にて検討	水防団待機水位の見直し(宇田川)
(2) 円滑かつ迅速な避難の実現								
住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良	漫水想定区域図の提供等によるハザードマップの作成支援	鳥取県		浸水想定区域図・浸水リスク図の提供		ı	I	1
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討	k 広域混雑等の判断基準や混雑場所等の確保についての検討	鳥取県		必要に応じ市町村からの相談等に対応		必要に応じ市町村からの相談等に対応	広域避難に向けた調整を市町村と実施	広域避難に向けた調整を市町村と実施
電子版の公表や想定浸水深等のまちなかで の表示や3次元の画像公開	* 電子版の公表や想定漫水深等のまちなかでの表示の検討	鳥取県	_	_	I	_	2地区(鳥取市、南部町)で実施	維続実施 (2~3地区)
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討	* スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討	鳥取県		安心トリピーナビの実施		_	1	-
ホームページやデータ 放送等のわか りやす い画面への改良や説明の表示	- ホームページやデータ放送等の住民にわかりやすい画面への改良や説明の表示	鳥取県		ホームページの改良実施		ホームページの改良実施	ホームページの改良実施	ホームページの改良実施
ホームページやデータ 放送等のアクセス方法の周知促進	ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進	鳥取県		チラシ・パンフの配布		チラシ・パンフの配布	チラシ・パンフの配布	チラシ・パンフの配布
職管理水位圏均河川等の防災行動計画(タ イムライン)の市町村との整理・共権、住民 への圏的、訓練の楽物	・ 原管 聖水仏閣 知河川の分イムラインの選用及び検証 日・タイムラインを活用した 訓練の 実施	鳥取県	H29水防訓練・水防講習会 出水期前に関係市町村と確認・整理	H30水防訓練・水防講習会 出水期前に関係市町村と確認・整理	出水期前に関係市町村と確認・整理	R 1 水防訓練・水防講習会(鳥取) 出水湖前に関係市町村と確認・整理	防災行動計画の見直し	水防講習会の実施
各家庭毎の「家庭用災害・避難カードの作 成」や「避難スイッチ」の取組推進	各家庭毎の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進	鳥取県	350	災害・避難カード事例集(内閣府)あり。		別途他の事業を予算要求中	若桜町において避難スイッチの取り組 みを実施	避難スイッチの取り組みを実施
円滑な避難を促すわかりやすい避難情報の 伝達文の検討	円滑な避難を促すわかりやすい避難情報の伝達文の検討	鳥取県		トリピーメールの内容検討		ガイドライン改定(5段階)に併せト リピーメールの内容改定	トンピーメールの内容投伝(制表レベル)	適宜見直し実施
河川情報画面の提供先拡大(データ放送、 CATV)	河川情報画面の提供先拡大 (データ放送、CATV)	鳥取県	N	NHK (データ放送) CATV (TOC NON ぴ	びょんびょん 中衛(佐陀川))にて放送中		取組継続	取組継続、拡大検討
あんしんトリピーメールの改良 (水位情報通加)	るんしんトリピーメールの改良(水位情報追加)の検討及び実施	当政制	水防警報メー	水防警報メールに防災情報(水位)、河川監視カメラのURLを追記	のURLを追記		1	1
ブッシュ型の決水情報の発信	ブッシュ型の洪水情報の発信の検討及び実施	当政制	-	検討中 (由良川)	_	(川) 中は教	1	必要に応じ検討
防災サインの普及促進	防災サインの普及促進	当政制		イベント時にパネル展示・	イベント時にパネル展示・ユーチューブへの動画配信		と話のとおり	左記のとおり
施設管理者への説明会実施	施設管理者への説明会実施	鳥取県	施設管理者、市町村の防災担当者にタ	施設管理者、市町村の防災担当者に対して、法令の規定、計画策定・避難訓練の意義、作成例などの説明会を開催	#の意義、作成例などの説明会を開催	\$P\$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$	R 2年7 月豪雨被害を踏まえ、緊急調査を実施	避難の実効性を高める取組(計画点 検、訓練、避難スイッチ)の実施
避難確保計画の作成や避難訓練実施の支援	遊贈確保計画の作成や避難訓練実施の支援	当政制	施設管理者、市町村の防災担当者にタ	市町村の防災担当者に対して、法令の規定、計画策定・避難訓練の意義、作成例などの説明会を開催	#の意義、作成例などの説明会を開催		R 2年7 月豪雨被害を踏まえ、緊急調査を実施	避難の実効性を高める取組(計画点 検、訓練、避難スイッチ)の実施
氾濫の拡大が時系列的にわかるシミュレー ションの提供、公開	- 氾濫の拡大が時系列的にわかるシミュレーションの提供、公開	当政制		IP管理者(国交省)ヘデータ提出		中팚羅を一些6字コ梟팚場出	海水ナビの公開	1
避難勧告等の目安となる河川水位情報の自 助配信	経難勧告等の目安となる河川水位情報の自動配信	当政制	住民向けでは	防災担当者への自動:、危機管理型水位計の設置・公開、水防	防災担当者への自動配信を行っている 住民向けでは、危機管理型水位計の設置・公開、水防警報メールに防災情報、河川監視カメラのURLを追記	のURLを追記	-	1
河川管理者と市町村長とのホットラインの 定業	河川管理者と市町村長とのホットラインの定着	鳥取県		河川管理者と市町村長とのホットラインの定着	このホットラインの定着		左配のとおり	左配のとおり
過去の洪水時の雨量と水位の関係整理	過去の洪水時の雨量と水位の関係整理	鳥取県	1	1	1	鳥取方式の洪水浸水リスク図により周 知	鳥取方式の洪水浸水リスク図により周 知	鳥取方式の洪水浸水リスク図により周 知
県管理河川の水位予測の検討	県管理河川の水位予測の検討	鳥取県		1		国(国総研)と連携し検討中	維続検討	維続検討

取組	
<u>i</u> 5 5	
で実施	
5年	
○ 敷を	
_	_

				COURT CONT AND A SECURITY CONT			-	4000000
*	春花編献	阿勒斯	III de la	noos ci-大路 (nes, noo)	+ 4	FF 平 EE X EE H31, R1	7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 + 55 7.412 + 55 + 55 + 55 + 55 + 55 + 55 + 55 +	A 4 10 4 10 4 10 4 10 4 10 4 10 4 10 4 1
 島取県の資み「支え費」による地域防災力の強化 (1) 地域の防災体制づくり 	44							
防災学習、出前講座等の実施	防災学習、出前講座等の実施、講師の派遣	鳥取県	出前講座等の実施(米子・日野県土)	出前講座等の実施(中部県土)	出前講座等の実施(鳥取・八頭県土)	出門講座等の実施	防災教育、出前講座の実施	防災教育・出前講座の継続
現場点体やワークショップを交えた支え愛 マップの作成支援	現場点検やワークショップを交えた支え愛マップの作成支援	鳥取県		支え愛マップの取り組み支援を実施		支え愛マップの取り組み支援を実施	取り組み支援を実施	取り組み支援を実施
マップ等を活用した防災訓練の実施	マップ等を活用した防災訓練の実施支援	鳥取県		支え愛マップの取り組み支援を実施		支え愛マップの取り組み支援を実施	取り組み支援を実施	取り組み支援を実施
防災リーダーの育成	建業所運営指針の作成や市町村向け研修会の実施	鳥取県	防災土養成	防災土養成研修、地域防災リーダースキルアップ研修の実施	F修の実施	防災土養成研修、地域防災リーダース キルアップ研修の実施	防災士養成研修、地域防災リーダース キルアップ研修の実施	研修の継続
自主防災組織等の研修、講師の派遣	自主防災組織等の研修、講師の派遣	鳥取県	地域防災推進	地域防災推進大会の実施、鳥取県自主防災活動アドバイザーを派遣	イザーを派遣	地域防災推進大会の実施、鳥取県自主 防災活動アドバイザーを派遣	地域防災推進大会の実施、鳥取県自主 防災活動アドバイザーを派遣	アドバイザー派遣等の継続
	・子質で指針回げの研究体験プログラムの配面		イザ!カエルキャラバン!の実施、消防 実施 (H30のみ)、 鳥取り	庁委託事業による少年消防クラブ育成及 R的災・危機管理対策交付金による市町4	ラバン:の実施、浦防庁委託事業による少年消防クラブ算成及び等者等への採防団加入促進支援事業の 実施引30のみ)、鳥物職防災・危機管理対策交付金による市野村への財政支援を実施	イザ!カエルキャラパン!の薬能、消 防骨整件事業による少年消防シラケ膏 は及化活等等への対応回加入促進支援 素の変態化、静岡県防災・危機管理が 策交付金による市町村への財政支援を 実施	消防庁委託事業による少年消防ゥラゴ 育成な行者者やの役割を 高級の支配・開助網の対 編事業の実施・開助網の対 対策交付金による再形対への財政支援 を選及付金による再形対への財政支援	単条の参与
	・学生に自主的や消砂図活動を体験してもらう事業の実施	AK XIrdi	米子工業高等専門学校 防災サークルの設置を目指す 江府町少年消防クラブ結成(県内2例 目)	鳥取看護・短期大学 消防防災サークルToGoToN FAST結成	鳥取大学 鳥大防災Labとの連携	鳥大防災Labの水防訓練への参加	1	ı
	・地域防災に関わる多様な主体がネットワーク化を図るための交流の場を提供	I		1				
	・市町村の自主防や消防団の強化等に係る取組について財政支援			住民主体の防災体制づくり事業	業(危機管理)において支援		自主防災組織新規設立補助金により市 町村の財政支援を実施	支援の継続
必要な音様材の整備及15円速な配備機勢の	・指定避難所への要配慮者対応、資機材配備への財政支援を検討	鳥取県		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		支援を実施	支援の継続
株養	・連携備蓄の取組において貨機材を充実			お射しるし組制に指数に 関数に	党制に関連を制度を担い合いに対象を分れま		要領により実施	要領により実施
家庭における防災備蓄の充実と避難所への 持参、持ち寄りの啓発	・機会を捉えて普及啓発の実施	鳥取県		防災訓練、フェス	フェスタ等により啓発		新型コロナに伴いフェスタ中止	イベント時等に啓発
住民による避難所自主開設の体制整備や円 滑な避難のための支援組織等との連絡体制 強化	・ 選替所の自主議省に関する環保拠者を図るための地域へのアドバイガー派流 ・ 地域の防災の担い手を過程所通道リーダーとして養成する市町村職員向けの研修会等を実施	鳥取県		H29選輯所運営指針の作成 (H29)、市	、市町村職員向け研修の実施(H29~R1)		避難所運営指針の改定	研修等の実施
(2) 住民の水害に対する心構えと知識を備える方策	方策							
鳥取型防災学習の充実・拡大・防災教育の 促進	小中学校等と連携した防災教育の権道	鳥取県	防災学習への職員派遣(米子・日野県 土)	防災学習への職員派遣(中部県土)	防災学習への職員派遣(鳥取・八頭県 土)	・防災学習への職員派遣 ・防災フェスタ (VR避離訓練、避難所 運営訓練等)	防災学習への職員派遣	防災学習への職員派遣
水害・土砂災害等に関するシンポジウム	水帯・土砂災害等に関するシンボジウムの開催	鳥取県	水害・土砂災害に関するシボッケム H29.11.18 (米子市)	ı	水害・土砂災害に関するシボゲ が H30.10.27 (鳥取市)	【中止】水害・土砂災害に関するシボ ジウム10.12 (湯梨浜町)	ツンボジウム配備(中止) 啓発動画記信(とっとり影画チャンキル)	ツンボジウムに替わる啓発活動(助画 配信等)の実施
地域の防災学習会、出前講座等	地域の防災学習会、出前講座等への講師派遣	鳥取県	出前講座等の実施(米子・日野県土)	出前講座等の実施(中部県土)	(日前講座等の実施(鳥取・八頭県土)	出前隣座等の実施	防災学習、出前講座の実施	防災学習、出前講座の実施
河川管理者及び市町村長、防災担当者への 母修	河川管理者及び市町村長、防災担当者への研修	鳥取県	研修の実施(研修の実施(防災土養成講座)(H30.1.20~21、H30.11.17~18)	11.17~18)	防災担当者への研修	防災土養成研修等の実施研修やトップ セミナー等の実施	研修等の実施
2. 島吹方式による格域と一体となった松本的な木町・河川管理の実施と治水対策 (1) 河川・堤防機能の態器性評価を活用したハード対策の推進	(第・国工者組の製菓とお外及業) - ド対策の推進							
重点的に流下能力対策を推進 (パックウォーター区間含む)	ケ海田・沙田・ 編製用・ 海型用・ 海型用・ 大井手川・ 智格川・ 鎌山川・ 響着川 田田・ 御舎川・ 御舎川・ 御舎川・ 御舎川・ 御舎川・ 御舎川・ 神巻川・ 小 大学の 一 大学の 川 ・ 一 野田 田田 日田 田田 田田 日田 田田 日田 日田 日田 日田 日田 日田 日田	鳥取県	加茂川、精進川、小松谷川、堀川、後藤川、日野川にかかる河川改修を推進	由良川、北条川、東郷池にかかる河川 改修を推進	大路川・砂田川、塩見川、浜村川、勝見川、大井手川、野坂川、蒲生川、湖 山川、勝部川、日電川、錦谷川、八東川、 場舎川、 別、 「	河三改修の実施 樹木伐採・河道据哨の実施	河川改修の実施樹木伐採・河道掘削の実施	河川改修の実施樹木伎様・河道掘削の実施
堤防の漫透対策、パイピング対策を実施	・場所の漫遇流対策・パイピング対策等質的強化対策の権温・場所の漫遇流対策・パイピング対策等質の権力を表現を設まえ、詳細調査及び実施闘所の検討及び実施	鳥取県	水貫川・佐陀川にかかる河川改修を推 進	-	1	当三段春の実施	河川改修の実施	河川改修の実施
計画的な予防保全型維持管理の推進	河川維持管理計画、長寿命化計画による維持管理の実施	鳥取県	適切な維持管理の実施	適切な維持管理の実施	適切な維持管理の実施	適切な維持管理の実施	遊切な維持管理実施	適切な維持管理の実施
内水対策の推進	水貫川にかかる内水対策の推進	鳥取県	排水機場の設計	_	I	排水機場の用地買収	排水機場の用地買収 排水機場工事	排水機場工事
堤防天蟠の保護を目的とした舗装等を実施	堤防舗装箇所の検討及び実施	鳥取県	堤防舗装の実施 (修繕費を活用し、堤防舗装を実施)	_	I	水防対策検討会において提言	堤防舗装の実施	堤防舗装の実施
(2) 河川・堤防機能の能弱性評価を活用した水防体制の強化・効率化	坊体制の強化・効率化							
重点監視区間の設定と河川監視カメラ・水位計・量水標等の設置等	河川監視カメラ・水位計・量水標等の設置箇所の検討及び実施	鳥取県	カメラ4、水位計7 設置	カメラ4、水位計5 設置	カメラ4、水位計13 設置	カメラ6/4/7、水位計24 設置	カメラ15、水位計34 設置	カメラ、水位計の設置
1 CTの導入による危険箇所の定点観測と 経年データの蓄積	1 C T の導入による危険箇所の定点観測と経年データの蓄積	鳥取県	タブ	タブレット端末を活用した河川巡視について検討	檢討	タブレット編末を活用した河川巡視に ついて検討	タブレット編末を活用した河川巡視に ついて検討	維続検討
点検を担う人材育成(一般住民、防災ボランティア等)	点検を担う人材育成 (一般住民、防災ボランティア等)	鳥取県	水防団・市・県による合同点検	水防団・市・県他関係団体による水防 訓練	水防団・市・県による合同点検	合同点検の実施	合同点検の実施	合同点検の実施
出水時における水防団・市町村との連携・役割分担	出水時における水防団と市町村との連携・役割分担の確認及び検討	鳥取県	水防団・市・県による合同点検 県・市による豪雨対応の振り返り	水防団・市・県他関係団体による水防 訓練	水防団・市・県による合同点検・意見 交換会	県・市町による豪雨対応の振り返り	水防訓練、意見交換等の実施	水防訓練、意見交換等の実施
地域住民からの情報提供等の双方向での道路体制の構築	地域住民からの情報提供等の連絡システムの開発検討	鳥取県		災害情報ダイヤルの普及	イヤルの普及		災害情報ダイヤルの普及を実施	災害情報ダイヤルの普及
重要水防箇所の見直しと水防団等との共同 点核及び水防資器材の確認	重要水防箇所の見直しと水防団等との共同点検及び水防貨機材の確認	鳥取県	水防団・市・県による合同点検	水防団・市・県他関係団体による水防 訓練	水防団・市・県による合同点検	-	建設業協会との連携(水防体制強化)	合同点検、水防訓練等の実施
水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	消防団の加入促進及び活動支援	鳥取県	防災	防災訓練、フェスタ等により消防団がその活 元気な消防団ご	フェスタ等により消防団がその活動を見せたり、県民と交流する場を設け、 元気な消防団づくり支援事業	°9.	支援の継続	支援の継続
水防団間での広域的な連携・協力に関する検 討	* 水防団間での広域的な連携・協力に関する検討	鳥取県				町内水防団との合同研修	1	-
総合防災訓練・水防購習会	総合防災訓練・水防講習会の開催	鳥取県	H29総合防災訓練(防災フェスタ) H30水防訓練・水防講習会	H29水防訓練·水防購習会	H30総合防災訓練(防災フェスタ)中止	R1水防訓練・水防講習会 R1総合防災訓練 (防災フェスタ)	水防訓練(中止)水防講習会(Web動画 配信)	水防訓練、水防講習会の実施
河川防災ステーションの活用	河川防災ステーションの活用の検討	鳥取県	1	防災訓練の実施	1	防災訓練の実施(中部)	防災訓練の実施	防災訓練の実施

O振ね5年で実施する取組

A S	衰旋内容	取組機関	目標時期	Riまでの実施	R2年度実績	R3年度予定
	,			H29, H30, R1	化十及大模	10-12-72
取集の強み「支え要」による地域防災力の強化						
地域の防災体制づくり						
防災学習、出前講座等の実施	総合的な災害図上訓練を防災コーディネーターが地域の防災講習等で実施	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
現場点検やワークショップを交えた支え愛防災マップの作成支援	マップづくりの作成支援	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
マップ等を活用した防災訓練の実施	各自主防災会で実施	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
防災リーダーの育成	毎年防災リーダー養成研修会を開催	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
自主防災組織等の研修、講師の派遣	防災コーディネーター、防災指導員、防災リーダーを派遣	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
自主防災組織への支援と消防団活動への理解促進と両者の連携	自主防災組織と消防団による合同訓練実施の検討	鳥取市	令和元年度から	_		
必要な資機材の整備及び迅速な配備態勢の構築	必要な資機材の整備及び迅速な配備態勢の構築	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
家庭における防災備蓄の充実と避難所への持参、持ち寄りの啓発	地域住民等を対象とした出前講座の実施	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
住民による避難所自主開設の体制整備	地域住民等を対象とした出前講座やHUGの実施	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
住民の水害に対する心構えと知識を備える方策						
島取型防災学習の充実・拡大・防災教育の促進	教育委員会や小中学校とも連携した防災教育の促進	鳥取市	定期的に実施	定期的に実施	定期的に実施	定期的に実施
水害・土砂災害等に関するシンポジウム	シンポジウムへの参加及び広報周知	鳥取市	継続実施	継続実施	繼続実施	継続実施
地域の防災学習会、出前講座等	地域住民等を対象とした防災講習会等の実施	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
河川管理者及び市町村長、防災担当者への研修	研修への参加	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
市町村と要配慮者施設との情報伝達・共有化の体制づくり	連絡体制の強化	鳥取市	平成29年度から			
と 放方式による地域と一体となった動率的な水防・河川管理の実施と治水対策	-					
刈川・堤助機能の原始在評価を活用したハート対策の推進						
重点的に流下能力対策を推進		-	-			
堤防の浸透対策、パイピング対策を実施	=	-	-			
計画的な予防保全型維持管理の推進	_	_	-			
堤防天端の保護を目的とした舗装を実施	_	_	-			
河川・堤防機能の脆弱性評価を活用した水防体制の強化・効率化						
重点監視区間の設定と河川監視カメラ・水位計・量水標等の設置	-	-	-			
ICTの導入による危険箇所の定点観測と経年データの蓄積	_	_	_			
直検を担う人材育成(一般住民、防災ボランティア等)			_			
	● 上動物の関係の配金などの会という。			AND AND ADDRESS OF THE ADDRESS OF TH	AND A STORY ALL	AND PROPERTY.
出水時における水防団・市町村との連携・役割分担	重点監視区間の設定及び役割分担の検討	鳥取市	平成29年度から	継続実施	継続実施	継続実施
地域住民からの情報提供等の双方向での連絡体制の構築	連絡体制の確認・構築	鳥取市	平成29年度から	継続実施	継続実施	継続実施
重要水防箇所の見直しと水防団等との共同点検及び水防資器材の確認	重要水防箇所の見直しと水防団等との共同点検及び水防資機材の確認	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	組続実施
水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	水防団員確保のための広報等の検討及び実施	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
水防団間での広域的な連携・協力に関する検討	水防団間での広域的な連携・協力の検討	鳥取市	平成30年度から	継続実施	継続実施	継続実施
総合防災訓練・水防講習会	地域住民と水防団・自主防災組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	鳥取市	継続実施	継続実施	継続実施	組続実施
河川防災ステーションの活用						
平成29年九州北部豪雨や台風豪雨を踏まえた警戒避難体制の整備・対策						
浸水常線地区等における排水施設・資機材及び樋門等の確実な運用と警戒避難体制の整備、排水 対策の推進	k 排水施設・資機材及び樋門等の確実な運用と警戒避難体制の整備	鳥取市	平成29年度から	樋門の講習会実施(年2回)	樋門の講習会実施(年2回)	樋門の講習会実施(年2
ダムの柔軟な運用について、操作規則等の総点検の実施	-	-	-			
ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施	ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施	鳥取市	平成29年度から	継続実施	継続実施	組続実施
流木による閉塞トラブルスポットの抽出と代表流域における総合的な流木対策の検討	_	-	-			
市町村庁舎や災害拠点病院等の施設管理者への情報伝達の充実	情報伝達体制・方法の充実検討	鳥取市	平成29年度から	継続実施	継続実施	継続実施
市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策(耐水化、非常用発電等の整備)	新本庁舎の耐水性の確保 環境下水道部庁舎、総合支所、病院等の浸水対策の点検、検討	鳥取市	令和元年度から	_		
		MEAN ITS	11470-000	_		
利水調整関係者協議と事前放流の積極的実施に関する利水調整	環境下水道部庁舎、総合支所、病院等の浸水対策の点模、模計	MS AIX ITS	-	_		
利水調整関係者協議と事前放流の積極的実施に関する利水調整 第3章を表現の課件の上	環境下水通部庁省、総合支所、病院等の浸水対策の点検、模計	_		_		
流入量予測の精度向上	選集下水連點厅管、総合支所、網際等の浸水対策の点核、模計 	_ _	-	_		
流入量予測の精度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成	-	- -	_ _ _	_		
流入量予測の精度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成	構理下水連即行前、総台支布、胸接等の液水対策の自模、模計 - - - - - - - - - - - - -	_ _	-	_		
次入量予測の積度向上 ダム下液の浸水器定区域面の作成 水位計、ライブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発電方法の検討	-	- -	_ _ _			
流入量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム技流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める	─────○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○<td>鳥取市</td><td>ー ー 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>-</td><td></td><td></td>	鳥取市	ー ー 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	-		
流入量予測の積度向上 ダム下流の港水葱定区域図の作成 水並計、ライブカメラの設置、管報事からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める 増移対策の接進		鳥取市	ー ー ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	-		
流入量予測の積度向上 ダム下流の浸水憩定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、管報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める 場形対策の推進 ダム被流・ダム的放流によるリスクの住民開始	─────○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○<td>一 一 鳥取市 鳥取市 一</td><td>ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー</td><td>- - -</td><td>超終業旅</td><td>超終客族</td>	一 一 鳥取市 鳥取市 一	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	- - -	超終業旅	超終客族
進入量予測の積度向上 ダム下流の浸水憩定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、整報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放浪時の安全な逆軽体制について関係者で協議を進める 場砂対策の推進 ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民無知 防災リーダー育成、避費タイムライン作成、避難到練の実施		鳥取市鳥取市	ー ー 一 令和元年度から 令和元年度から	-	解析实施	朝枝実施
流入量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、タイプカッラの設置、習報率からのアナウンス改善等新たな情報発促方法の検討 ダム改造の安全な避難体制について関係者で協議を進める 場砂対策の理塞 ダム関係。 ダムの改進によるリスクの住民開始 防災リーダー両派、避難タイムタイプ作成、避難別様の実施 4の課題を使す島取馬の実物を確まえた水管リスク情報等の提供		一 一 鳥取市 鳥取市 一	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	- - -	超结英施	超枝英花
及入量予測の精度向上 ダム下流の浸水憩定区域図の作成 ダム下流の浸水憩定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、警報業からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める 場の対策の推進 ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民用効 防災リーダー資成、避難フィムライン作成、避難別練の実施 803選目を修了金融版の実験を踏まえた水雷リスク情報等の提供 水本リスク情報等の具体		一 一 鳥取市 鳥取市 一	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	- - -	超桥实施	超频実施
流入量予測の稍度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、習報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放洗剤の安全な避解体制について関係者で協議を進める 場合対策の搭進 ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民期加 防茨リーダー育成、延醒タイムライン作成、避難別縁の実施 の避難を使す事業属の実情を請まえた水管リスク情報等の課失 本売リスク情報の具件を		一 馬取市 島取市 一 島取市	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	—————————————————————————————————————		
流入量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 米拉計、ライブカメラの設置、警報事からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム被流時の安全な避損体制について関係者で協議を進める 署的対策の確塞 ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民周知 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難到練の実施 3の避難を使す事取嘱の実情を確まえた水管リスク情報等の機像 本定して人情報の資料を		一 島取市 島取市 島取市	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	超続実施	総統実施	継続実施
次入量予測の積度向上 ダム下流の浸水型定区域図の作成 水起計、ライブカメラの設置、管報事からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流時の安全な避軽体制について関係者で協議を進める 堆砂対策の確遂 ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民用知 防災リークー育成、避難タイムライン作成、避難到練の実施 40週間を低す事取馬の発情を確まえた水管リスク情報等の提供 水池周知河川等の指定促進 形成と、日本の発生 北京		一	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	—————————————————————————————————————		
造入量予測の積度向上 ゲム下流の浸水整定区域図の作成 水起計、タイプカシラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発展方法の検討 ダム放流時の安全な避損体制について関係者で協議を進める 場合対策の推進 ダム観光、ダムの放流によるリスクの住民開始 防災リーゲー育成、避難タイムライナ作成、避難訓練の実施 の運動を促す自取肌の実施を結果を大水管リスク情報等の機長 水面リスク情報等の共有 変速を大規模の表決を大変に従等の提供 水位周知河川等の指定使差 浸水養積等の周知 鳥動方式の洗水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供		一	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	一 一 一 一 一 一 相続実施 超続実施 超級実施	超桥灭路 超桥灭路	級桥実施 総桥実施
造入量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水血計、タイプカメラの設置、管轄率からのアナウンス改善等新たな情報発展方法の検討 ダム改造時の安全な避難体制について関係者で協議を進める 総砂力策の推進 ダム改造の大きの対策によるリスクの住民開始 防災リーダー資成、避難タイムライン作成、避難到練の実施 の避難を保す島取馬の実情を踏まえた水害リスク情報等の機株 水面リスク情報等の共有 影響を表現機の実力を開発 水面リスク情報等の異対 水面加別川等の指定促進 淡水実積等の周知 鳥動方式の清水浸水リスク間による概ねの浸水範囲等の情報提供		一	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	超続実施	総統実施	継続実施
次入量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 米位計、ライブカメラの設置、警報事からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム玻流時の安全な避費体制について関係者で協議を進める 署的対策の搭進 ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民用知 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難到練の実施 **の選載を使す事業長の実験を譲奪えた水管リスク情報等の機大 本をリスク情報等の機大 水を見か用明等の指定侵差 淡水美様等の用知 鳥和方式の洗水浸水リスク間による概ねの浸水範囲等の情報提供 県の実情を踏まえたよりのご整料断基準(水位)の運用		一	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	一 一 一 一 一 一 相続実施 超続実施 超級実施	超桥灭路 超桥灭路	級桥実施 総桥実施
次人量予測の積度向上 ダム下液の浸水憩定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、置報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム技変持の安全な避難体制について関係者で協議を進める 場や対策の推進 ダム機能、ダムの放派によるリスクの住民周知 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難別練の実施 20週間を後す金庫の実験を整まえた水管リスク情報等の提集 水本リスク情報等の共有 慰定最大規模の洪永浸水完定反域等の提供 地位周知河川等の指定促進 温水板高の水流が表生及成場の地域 最高表表が表の水流がよりスク個にも配性の浸水範囲等の情報提供 最の実情を踏まえた早めの避難判断基準(水位)の連用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所重情報、隣兩指標等)の検討		一	ー	一 一 一 一 一 一 一	超核实施超核实施超核实施	総統実施 総統実施 総統実施
次人量予測の積度向上 ダム下液の浸水憩定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、置報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム技変持の安全な避難体制について関係者で協議を進める 場や対策の推進 ダム機能、ダムの放派によるリスクの住民周知 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難別練の実施 20週間を後す金庫の実験を整まえた水管リスク情報等の提集 水本リスク情報等の共有 慰定最大規模の洪永浸水完定反域等の提供 地位周知河川等の指定促進 温水板高の水流が表生及成場の地域 最高表表が表の水流がよりスク個にも配性の浸水範囲等の情報提供 最の実情を踏まえた早めの避難判断基準(水位)の連用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所重情報、隣兩指標等)の検討		一	ー	一 一 一 一 一 一 一	超核实施超核实施超核实施	級終実施 級終実施 級終実施
次人量予測の構度向上 ダム下液の浸水憩定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、置報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める 場や対策の財産 ダム環境、ダムの放流によるリスクの住民用物 防災リーダー育成、避難のすムのラインや成、避難別練の実施 8の選集を低す金属の共和・企業の大水管リスク情報等の提集 水準リスク情報等の共和 8次更大規模の共未浸水型定域等の提供 水位周知河川等の指定促進 2次実績等の周知 島設方式の淡水浸水リスク個による概ねの浸水範囲等の情報提供 県の実情を踏まえた早めの避難判断基準(火位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所置情報、阿雨指標等)の検討 下港かつ迅速な避難の実現		一	ー	一 一 一 一 一 一 一	超核实施超核实施超核实施	級終実施 級終実施 級終実施
流入量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水血計、クイブカメラの設置、管轄率からのアナウンス改善等新たな情報発展方法の検討 ダム改造時の安全な避損体制について関係者で協議を進める 総砂力策の推進 ジム改造所とあり入りの住民開始 防災リーダー育成、避難分イムライン作成、避難別緒の実施 の避難を保す島取馬の実情を踏まえた水管リスク情報等の機繁 水面リスプ情報等の共有 影響を表現機の表現表と常定は等の提供 水位展知河川等の指定促進 浸水実積等の周知 扇設方式の湯水浸水リスク間による概ねの浸水能囲等の情報提供 根の実情を踏まえた平めの避耗判断基準(水位)の連用 水位原知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所置情報、瞬雨指揮等)の検討 円沸かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいいザードマップの作成・改良		一	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	一 一 個核実施 超核実施 超核実施 超核实施 超核实施	解核実施 服核実施 超核実施 超核実施	超枝実施 超枝実施 超枝実施 超枝実施
次入量予測の積度向上 ダム下流の浸水葱定区域図の作成 水血計、カイブカシラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流時の安全な避損体制について関係者で協議を進める 場合対策の推進 ダム製造機の安全な避損体制について関係者で協議を進める 場合対策の推進 ダム製造・メムの放流によるリスクの住民間地 防災リーダー育成、避難ライムライン作成、避難訓練の実施 の避難を使す島取属の実務を確まえた水管リスク情報等の機長 水差リスク情報等の共有 影を進大規模の具体浸水水煮煮皮は等の提供 水塩周知河川等内液定差 浸水質様等の周知 島助方式の浸水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供 概の実情を結まえた早めの避損判断基準(水位)の適用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所置情報、両雨指標等)の検討 円滑かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広ば避難等の料断基準や避難場所等の確保についての検討		一	ー		超級英施 超級英施 超級英施 超級英施	超枝実施 超枝実施 超枝実施
表入量予測の積度向上 ダム下波の原木型定区域間の作成 水位計、ライブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放送時の安全と避解体制について関係者で協議を進める 電砂対策の推基 メム酸化、ダムの放送によるリスクの往民開始 防災レーダー南は、避難タイムライン作成、避難到時の実施 ***********************************	一	一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		超核实施 超核实施 超核实施 超核实施	超枝実施 超枝実施 超枝実施 一 一 組枝実施
次人量予測の積度向上 ダム下液の原水憩定区域面の作成 水位計、ライブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流時の安全心理解体制について関係者で協議を進める 電砂対策の改進 場砂対策の改進 メの放流によるリスクの住民開始 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難訓練の実施 の避難を使す鳥取乱の資報を確まえた水管リスク情報等の機像 水害リスク情報等の共有 恋意者大規係の清水深水密定区域等の提供 恋と意大規係の清水深水密定区域等の提供 高を力式の清水深水リスク間による概ねの淡水範囲等の情報提供 風の実情を踏まえた早めの避難判断基準(水位)の運用 水位風知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所置情報、開売指標等)の検討 円滑かつ迅速な避難の実現 住民におかりやすいいザードマップの作成・改良 広域逻辑等の判断基準や逻辑場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定深水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討	一	一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		超核实施 超核实施 超核实施 超核实施	超枝実施 超枝実施 超枝実施 一 一 組枝実施
次人量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 米位計、ライブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める 種砂対策の推進 ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民間知 防災リーダー育成、避費タイムのイン作成、避難到練の実施 4の避難を貸す無数減の実験を整理するた木管リスク情報等の提集 水をリスク情報等の具有 動型者大展の非未浸水想定区域等の提供 地図無知川等の指定设施 浸水業制等の周知 島取方式の洪水浸水リスク間による概ねの浸水範囲等の情報提供 展の実情を踏まえた早かの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所量情報、胸雨指標等)の検討 市場かつ迅速な避難の実際 住民にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広域登襲を呼称基準を連載指示の発展についての検討 電子板の公長や憩定浸水深等の注意に入いての検討 電子板の公長や憩定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい項面への改良や認明の表示	一	一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		超校実施 超校実施 超校実施 一 組材実施 超校実施	超续実施 超続実施 超級実施 超級実施 組織実施
流入量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、管報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム散波神の安全な避損体制について関係者で協議を進める 権砂対策の推進 ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民開知 防災リーダー育成、避難ライムライン作成、避難到時の実施 1の避難を責す金数数の受験を確まえた水曽リスク情報等の損失 水麦リスク情報等の具有 都恋差子疾機の非水洗水想定区域等の提供 水金周知別川等の指定促進 飛の実情を踏まえた早めの避費判断基準(水位)の運用 水位周知別川等の指定促進 飛の実情を踏まえた早の避費判断基準(水位)の運用 水位周知別川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所量情報、時雨指標等)の検討 水位見知用用等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所量情報、時雨指標等)の検討 電力を必要を避難の実際 促促にわかりやすい・ボードフェップの作成・改良 広延連難の利用基準を連載場所等の搭銀についての検討 電子板の公表や想定浸水深等のまちなかての表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等の出版をは認明の表示	一	一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		超核实施 超核实施 超核实施 超核实施	超枝実施 超枝実施 超枝実施 一 一 組枝実施
表入量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、タイブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流の浸水想定区域図の作成 米位計、タイブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流の浸水想定経 基砂対策の建基 メの建設によるリスクの住民開物 防災リーダー育成、避難タイムライク作成、避難訓練の実施 の選覧を低す島取馬の興精を請求えた水管リスク情報等の個殊 水本リスク情報等の具有 動力スの情報等の具有 動力大の浸水光水リスク間による概ねの浸水能囲等の情報提供 親の実施・水池・火ラの間による概ねの浸水能囲等の情報提供 親の実情を請まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨量情報、隣局指標等)の検討 円沸かつ迅速な避難の実際 住民にわかりやすいバザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子筋の必要や想定浸水薬等のまちなかでの表示の検討 スマートフェン等の位置情報を活用した情報の人本ラステムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい面面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい面面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい面面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等ののクセス方法の周知度連	一	一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		超校実施 超校実施 超校実施 一 組材実施 超校実施	超频実施 超频実施 超频实施 超频实施 显频实施
表入量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、タイブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流の浸水想定区域図の作成 米位計、タイブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流の浸水想定経 基砂対策の建基 メの建設によるリスクの住民開物 防災リーダー育成、避難タイムライク作成、避難訓練の実施 の選覧を低す島取馬の興精を請求えた水管リスク情報等の個殊 水本リスク情報等の具有 動力スの情報等の具有 動力大の浸水光水リスク間による概ねの浸水能囲等の情報提供 親の実施・水池・火ラの間による概ねの浸水能囲等の情報提供 親の実情を請まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨量情報、隣局指標等)の検討 円沸かつ迅速な避難の実際 住民にわかりやすいバザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子筋の必要や想定浸水薬等のまちなかでの表示の検討 スマートフェン等の位置情報を活用した情報の人本ラステムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい面面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい面面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい面面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等ののクセス方法の周知度連	一	一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一	超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施	組結実施 組結実施 超続実施 超続実施 一 一 超続実施 組続実施
次人量予測の積度向上 ダム下流の漫水想定区域図の作成 水位計、クイブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流の漫水想定区域図の作成 米位計、クイブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流の連進 ※砂対策の建基 ※砂封策の建基 ※砂封策の建基 ※砂封策の建基 ※の課題を促す鼻取信の実質を請求えた水管リスク情報等の機関 水面リスク情報等の具対 動変を大規模の具体浸水が恵定区域等の提供 水面見知川両や加定定差 浸水実情等の周知 鳥動方式の湯水浸水リスク図による概ねの浸水観測等の情報提供 概の実情を請まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所置情報、両雨指標等)の検討 円沸かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良 広域避難等の料能基準や避難場所等の帰保についての検討 電子仮の必要や想定浸水薬等のまちなかでの表示の検討 スマートフェン等の促進情報を浸用した情報の入キシステムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改造や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改造を説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改造や説明の表示 ホームページやデータ放送等のお助りに有動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への開報知、訓練の実施	一	一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一	超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施	超校実施 超校实施 超校实施 超校实施
流入量予測の積度向上 ダム下流の漫水想定区域図の作成 水位計、タイブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム改造のヴァンスの選素を連続していて関係者で協議を進める 雅砂対策の理進 が上級場所の安全な避損体制について関係者で協議を進める 雅砂対策の理進 が成成によるリスクの住民間物 防災リーゲー育成、避難タイムライン作成、避難訓練の実施 の運職を報す無収集の共発、地恵定は場等の提供 水を見知が同時の形定を基 淡水実積等の周知 鳥島方式の淡水浸水リスク間による概ねの浸水能調等の情報提供 親の実情を踏まえた早めの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等の指定を基 水を関地の実施を表していない河川の避難動告等の目安(商量情報、降雨指標等)の検討 円沸かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子振の必善や想定表別である場合に対しての検討 スマートフェン等の位置情報と活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のカウセス方法の周知促進 高等電水の無知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への周 和期後の実施 高等電水の無知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への周 4、割線の実施	一	一	一		超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施	超核実施 超核实施 超核实施 超核实施 超核实施 超核实施 超核实施
次人量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、タイブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム改造時の安全な避損体制について関係者で協議を進める 場づ対象の建基 メルロスのでは、まるリスクの住民間地 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難別様の実施 (の運動を使す鼻取肌の発情を確まえた水管リスク情報等の提集 水差リスク情報等の共有 あたまるリスク情報等の共有 あたまるリスク情報等の共有 あたまるリスク情報等の共有 あたまるリスク情報等の共有 あたまるリスク情報等の共有 の場合を関連を表生が表現の実施を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	一	一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一	超枯実施 超枯実施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施	超核実施 超核実施 超核実施 超核実施 超核実施 超核実施
次人量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、習報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム改造時の安全な避損体制について関係者で協議を進める 場合対策の改建 場合対策のの推進 4の機能・ダムの放流によるリスクの住民機物 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難訓練の実施 4の 適難を使す鳥取帆の資料を請求えた水管リスク情報等の損失 水を入る人情報等の共有 第2を表大規模の具体表大地大管リスク情報等の機像 水を入る人情報等の共有 第2を表大規模の具体表大地大管リスク情報等の機像 水を入る人情報等の共有 第2を表大規模の具体表大地大管リスク情報等の機像 高数方式の洗水浸水りな2間による概ねの浸水範囲等の情報提供 高数方式の洗水浸水リスク間による概ねの浸水範囲等の情報提供 高の実情を請まえた早めの避難判断基準(水位)の運用 水位風知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所置情報、開雨指標等)の映計 円滑かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 ネイニトフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の用知促進 衛を選水位産地河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への関 5、訓練の実施 ・影響の場合に乗る対象が開発を表し、の表情推進 日滑な避難を使すわかりやすい避難情報の伝達スの検討 用用情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV)	一	一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一	超枯実施 超枯実施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施	超核実施 超核実施 超核実施 超核実施 超核実施 超核実施
次人量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、習報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放送剤の安全な避損体制について関係者で協議を進める 場砂対策の階差 が上場を、メーターの表現によるリスクの住民開始 があり、メーターの表現を使する場合を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	一	一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一	超枯実施 超枯実施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施	超続実施 超频実施 超频実施 超频実施 超频実施 超频実施 超频实施
次人量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム地流物の安全な避損体制について関係者で協議を進める 堪砂対策の改進 ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民機知 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難別線の実施 の避難を軽す無駄傷の資料を翻まえた水管リスク情報等の優集 水を見入り情報等の具有 都定義大規模の洪林ス米忠定は域等の提供 減次素様等の周知 島取万式の洪水浸水リスク間による概ねの浸水範囲等の情報提供 駅の実情を踏まえた早めの避難判断基準 (水位) の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安 (所置情報、開雨指標等) の検討 円滑かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広域定難等の利用結構や主意を対象が表現していての検討 電子級の公長や思定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等の力がりやすい両面への改良や認理の表示 ホームページやデータ放送等の力がりやすい画面への改良や提供・共有、住民への周知、別様の実施 1、別様の実施 各業要集毎の「家庭用川等・避難力・ドの作成」の取聴推進 円沸な返避を使すわかりやすい避難情報の伝道文の検討 河川情報商画の提供先拡大 (データ施定、CATV) あんしんトリピーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信	一	一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	超校実施 超标実施 超标实施 超标实施 超标实施 超标实施 超标实施 超标实施	超核実施 超核実施 超核実施 超核実施 基核实施 超核实施 超核实施
次人量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム地流物の安全な避損体制について関係者で協議を進める 堪砂対策の改進 ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民機知 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難別線の実施 の避難を軽す無駄傷の資料を翻まえた水管リスク情報等の優集 水を見入り情報等の具有 都定義大規模の洪林ス米忠定は域等の提供 減次素様等の周知 島取万式の洪水浸水リスク間による概ねの浸水範囲等の情報提供 駅の実情を踏まえた早めの避難判断基準 (水位) の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安 (所置情報、開雨指標等) の検討 円滑かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広域定難等の利用結構や主意を対象が表現していての検討 電子級の公長や思定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等の力がりやすい両面への改良や認理の表示 ホームページやデータ放送等の力がりやすい画面への改良や提供・共有、住民への周知、別様の実施 1、別様の実施 各業要集毎の「家庭用川等・避難力・ドの作成」の取聴推進 円沸な返避を使すわかりやすい避難情報の伝道文の検討 河川情報商画の提供先拡大 (データ施定、CATV) あんしんトリピーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信	一	一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一	超枯実施 超枯実施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施	超核実施 超核実施 超核実施 超核実施 超核実施 超核実施
流入量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、ライブカメラの設置、管報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム散波神の安全な避損体制について関係者で協議を進める 権砂対策の推進 ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民居地 防災リーダー育成、避費タイムライン作成、避難訓練の実施 1の避難を育す無限の実験を被募えた水曽リスク情報等の損失 水をリスク情報等の具有 慰定差入実験の声水浸水想定反域等の提供 地次の無知別川等の指定促進 現次実験等の原理 風及方式の原水浸水リスク図による既ねの浸水販問等の情報提供 風の実情を踏まえた早めの避費判断基準 (水位) の運用 水位周知別川等に指定されていない別川の避精動告等の目安 (雨量情報、胸雨指標等) の検討 円滞かつ温速を避難の実現 住民にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広延連難等の利用部基準を連載場所等の搭銀についての検討 電子振の会長や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の開始促進 観響音水位産知別川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との登理・共有、住民への周 20 開始の実施 別 削修の実施 別 削修の実施 の環境研究等・遅粗カードの作成」の取積接進 円滑な遅減を促すれかりやすい連鎖情報の伝送文の検討 同川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洗水情報の免傷	一	一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	超校実施 超标実施 超标实施 超标实施 超标实施 超标实施 超标实施 超标实施	超核実施 超核实施 超核实施 超核实施 超核实施 超核实施 超核实施 超核实施 超核实
表入量予測の積度向上 ダム下流の漫水想定区域図の作成 水起計、クイブカタの設置、管轄率からのアナウンス改善等等たな情報発展方法の検討 ダム改造内外の安全な避損体制について関係者で協議を進める 総砂力策の理塞 ・	一	一 一	一	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	超校実施 超校実施 超校実施 超校実施 超校实施 超校实施 超校实施	超級実施 超級実施 超級実施 超級実施 超級実施 超級実施 超級実施 超級実施
表入量予測の積度向上 ダム下流の漫水想定区域図の作成 水位計、タイブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム改造の分となど避体制について関係者で協議を進める 総砂対策の理選 ジム放送ではるいスクの住民間知 防災レーダー育成、避難タイムライナ作成、避難別様の実施 **の理難を使す島取馬の実情を論まえた水管リスク情報等の機繁 水海リスク情報等の具有 想数を大規模の表大表で異な事の提供 水原見知河川等の物定を差 浸水実情等の周知 鳥放方式の泉水浸水リスク図による暇ねの浸水範囲等の情報提供 概の実情を論まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所量情報、周雨指標等)の検討 円沸かつ迅速な避難の実際 住民にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広域避難の利能を基準や避難場所等の確保についての検討 本マートフェン等の位置情報と混用した情報の入まつようなの機対 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改造や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改造や説明の表示 ホームページやデータ放送等のからかりやすい画面への改造や説明の表示 ホームページやデータ放送等のからかりやすい画面への改造や説明の表示 ホームページやデータ放送等のからかりやすい画面への改造や説明の表示 ホームページやデータ放送等のからかりやすい画面への改造を説明の表示 ホームページやデータ放送等のよりを表示の形成性差 高度者水位息効河川等の防災行動計面(タイムライン)の市町村との登場・共有、住民への周知、別様の支施 高度者水位息効河川等の防災行動計面(タイムライン)の市町村との登場・共有、住民への周知、別様の支施 大田がなど間を受けませない。	一	一 一	一	一 一 一	超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施	超快実施 超快実施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实
表入量予測の積度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成 水位計、タイプカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流の浸水想定区域図の作成 米位計、タイプカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流の定差 基砂対策の建基 メル関係の改進によるリスクの住民開知 防災レーダー育成、避難タイムライン作成、避難別様の実施 の避難を低す島取馬の発精を請求えた水管リスク情報等の個条 水をリスク情報等の具有 動力式の浸水浸水リスク間による概ねの浸水範囲等の情報提供 親の実情を詰まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨量情報、隣局指標等)の検討 円沸かつ迅速な延慢の実現 住民にわかりやすいバザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の帰保についての検討 電子板の必要や想定浸水実等のまちなかでの表示の検討 スマートフェン等の位置情報を活用した情報の人手システムの検討 ホームベージやデータ放送等のわかりやすい画面への改良を説明の表示 ホームベージやデータ放送等のかりかりですい画面への改良を説明の表示 本ームベージやデータ放送等のわかりやすい画面への改良を説明の表示 本ームベージやデータ放送等のかり、中で作成」の設権推進 円冷な避免を受する場外の実施 素者重水の重効用に等・逆転が下の作成」の設権推進 円冷な避免でする場外の変換、水位情報通加 ブリンよ型の洗りを見た法だ、「データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(水位情報通加 ブリンよ型の洗りを開発の発信 防災サインの普及促進 総数管理者への説明会実施 連載確保計画の作成や連載訓練実施の支援 連載確保計画の作成や連載訓練実施の支援 連載確保計画の作成や連載訓練実施の支援	一	一	一	一 一 一	超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施	超快実施 超快実施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实
表入量予測の積度向上 ダム下波の淡水葱定区域間の作成 水位計、ライブカメラの設置、警報率からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放送時の安全心理解体制について関係者で協議を進める 理形対策の推進 4の観覧を使す島取信の発情を表した水曽リスク機関等の選集 水色期か可用等の決定とは、大水曽リスク機関等の選集 水色別カブ川等の決定とは、大水曽リスク機関等の選集 水色別カブ川等の助定促進 浸水実験等の周知 島和方式の淡水浸水リスク間による概ねの浸水能器等の情報提供 服の実情を指すえれていない河川の避難動告等の目安(所置情報、時期指標等)の検討 円満かつ迅速な避難の実現 北原知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(所置情報、時期指標等)の検討 円満かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子部の公表や想定浸水運等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ接近等のかりやすい個面へ改良や説明の表示 ホームページやデータ接近等のかりやすい個面への改良や説明の表示 本個数水位配数河川等の助災行動計画(タイムライン)の市前村との整理・共有、住民への周 1、訓練の実施 「東国県災害・避難カードの作成」の数種推進 円満た遅観度ですかかりやすい避難情報の応義文の検討 不開発な位配数河川等の助災行動計画(タイムライン)の市前村との整理・共有、住民への周 1、訓練の実施 「東国県災害・避難力・ドの作成」の数種推進 円満た遅観度に大いりピーメールの改良(水位情報通加) フッシュ艦の決体情報の発信 防災インの普及の発信 防災インの普及の発信 防災インの等の決策 超数音等のの設定会業 起覧音等への設明会実施 超数音等の目安となる河川水位情報の自動を低	一	一	一	一 一	超枯実施 超枯実施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实施 超枯实	超快実施 超快実施 超快実施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实
次公主予測の指皮向上 ダム下流の漫水想定区域図の作成 水位社、タイブカンラの設置、警報等からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討 ダム放流の受水也避解体制について関係者で協議を進める 堪砂対策の建基 がム地流ので水心避解体制について関係者で協議を進める 堪砂対策の建基 の温度を促す島取馬の貨精を請求えた水管リスク情報等の提集 水差リスク情報等の具有 形式の湯水浸水りスク間による個石の浸水範囲等の情報提供 成型部別用等の形型を 表末実情等の周知 島数方式の湯水浸水リスク間による個石の浸水範囲等の情報提供 成の実情を語まえた早めの避難判断基等(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難勧告等の目安(两重情報、隣局指標等)の検討 円滞かつ迅速な避難の実現 症民たわかりやすいいザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子筋の途巻や想定浸水運等のまちなかでの表示の検討 スマートフェン等の位置情報を活用した情報の人キシステムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良を説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良を説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良を説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良を説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良を説明の表示 ホームページやデータ放送等のかかりやすい画面への改良を説明の表示 本一人ページやデータ放送等のかりですい画面への改良を説明の表示 本一人ページやデータ放送等ので表えの検討 別用情報画の提供を述 アータ改造、CATV) あんしんトリビーメールの改良(水位情報通知) ブンシュ室の浸水が解めの発信 防災サインの普及使進 施管理者への認明会実施 避難確保計画の作成や避難訓練実施の支援 避難確保計画の作成や避難訓練実施の支援 避難確保計画の作成や避難訓練実施の支援 避難確保計画の作成や避難訓練実施の支援	一	一	一	一 一 一	超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施 超枯実施	超快実施 超快実施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实施 超快实

PI B	突旋内容	取組織問	目標時期	Riまでの実施 H29、H30、R1	R2年度実績	R3年度予定
				mary more at		
	地域防災活動協力員養成講座として、有識者を招いての金地区住民を対象とした					
防災学習、出前講座等の実施	字省会を実施	岩美町	維続実施	実施	実施	実施予定
現場点検やワークショップを交えた支え愛防災マップの作成支援	支え愛マップづくりの作成支援	岩美町	維続実施	実施	実施	実施予定
マップ等を活用した防災訓練の実施	指定避難所の運用に関する、自主防災組織との図上訓練の実施 地域防災活動協力員養成講座として、有識者を招いての全地区住民を対象とした。	岩美町	平成29年度から	実施	実施	実施予定
防災リーダーの育成	学習会を実施	岩美町	継続実施	実施	実施	実施予定
自主防災組織等の研修、講師の派遣	地域防災活動協力員養成講座として、有識者を招いての全地区住民を対象とした 学習会を実施	岩美町	継続実施	実施	実施	実施予定
自主防災組織への支援と消防団活動への理解促進と両者の連携	自主防災組織と消防団が連携した避難訓練等の実施	岩美町	令和元年度から	-	実施	実施予定
必要な資機材の整備及び迅速な配備態勢の構築	避難所、福祉避難所物品の整備	岩美町		実施	実施	実施予定
家庭における防災機蓄の充実と避難所への持参、持ち寄りの啓発	防災のしおり、広報紙による啓発	岩美町			実施	実施予定
住民による避難所自主開設の体制整備	防災訓練の実施	岩美町		自治会長に提案	総続協議	継続協議
島取型防災学習の充実・拡大・防災教育の促進	小中学校等と連携した防災教育の推進	岩美町	平成30年度から			
水害・土砂災害等に関するシンポジウム	シンポジウム、研修会等への参加及び広報周知	岩美町	継続実施			
地域の防災学習会、出前講座等	地域住民等を対象とした防災講習会等の実施	岩美町	継続実施	実施	実施	実施予定
河川管理者及び市町村長、防災担当者への研修	研修会への参加	岩美町	継続実施	実施	実施	実施予定
市町村と要配慮者施設との情報伝達・共有化の体制づくり	福祉避難所連絡協議会の開催 情報連絡体制の強化	岩美町	平成29年度から	協定締結済	内容検討	内容検討
重点的に流下能力対策を推進		-				
堤防の浸透対策、パイピング対策を実施	_	_				
計画的な予防保全型維持管理の推進	-	_	_			
堤防天端の保護を目的とした舗装を実施	<u> </u>	-				
	T					
重点監視区間の設定と河川監視カメラ・水位計・量水標等の設置	-	-	_			
ICTの導入による危険箇所の定点観測と経年データの蓄積	-	-				
点検を担う人材育成(一般住民、防災ボランティア等)	_	-	_			
出水時における水防団・市町村との連携・役割分担	重点監視区間の設定及び役割分担の検討	岩美町	平成29年度から		内容検討	内容検討
地域住民からの情報提供等の双方向での連絡体制の構築	連絡体制の確認・構築	岩美町	平成29年度から		内容検討	内容検討
重要水防箇所の見直しと水防団等との共同点検及び水防資器材の確認	重要水防箇所の見直しと水防団等との共同点検及び水防資機材の確認	岩美町	継続実施		実施予定	実施予定
水防に関する広報の充実 (水防団確保に係る取組)	水防団員確保のための広報等の検討及び実施	岩美町	継続実施			
水防団間での広域的な連携・協力に関する検討	水防団間での広域的な連携・協力の検討	岩美町	平成30年度から			
総合防災訓練・水防講習会	町内小学校における総合防災訓練、町内河川敷での水防訓練の実施	岩美町	継続実施	実施	実施	実施予定
河川防災ステーションの活用	河川防災ステーションの活用の検討	岩美町	平成29年度から	実施	実施	実施予定
漫水常襲地区等における排水施設・資機材及び樋門等の確実な運用と警戒避難体制の整備、指						
水対策の推進	横門等の運用方法の確認と改善検討と警戒避難体制の整備	岩美町	平成29年度から	実施	実施	実施予定
ダムの柔軟な運用について、操作規則等の総点検の実施	=	_	-			
ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施	_	_	_			
流木による閉塞トラブルスポットの抽出と代表流域における総合的な流木対策の検討	_	_	_			
市町村庁舎や災害拠点病院等の施設管理者への情報伝達の充実	情報伝達体制・方法の充実検討	岩美町	平成29年度から	実施	実施	実施予定
市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策(耐水化、非常用発電等の整備)	役場庁舎の耐水化・非常用発電機の整備の検討	岩美町	平成30年度から	_	実施	実施予定
利水調整関係者協議と事前放流の積極的実施に関する利水調整	_	_	_			
流入量予測の精度向上	_	_				
ダム下流の浸水想定区域図の作成	_	_				
水位計、ライブカメラの設置、警報車からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討	_	_	_	=		
ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める		_	_	_		
堆砂対策の推進						
ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民周知		_	_	_		
防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難訓練の実施				_		
リアソーテー目が、紅柱デリムフリントは、紅柱岬体の大郎						
想定最大規模の洪水浸水想定区域等の提供		_				
	水位周知河川の追加指定の検討	岩美町		実施	**	p# 2 p
水位周知河川等の指定促進 浸水実轄等の周知			平成29年度から	类能	実施	実施予定
	浸水実績等の住民への周知	岩美町	平成29年度から			
島取方式の洪水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供	関連組化車件(単常用)の電内では大型に乗りませた。					ets also we elso
果の実情を踏まえた早めの避難判断基準(水位)の運用	避難判断水位(県運用)の運用及び必要に応じた地域防災計画の見直し	岩美町	平成29年度から			実施予定
水位周知河川等に指定されていない河川の避難勧告等の目安 (雨量情報、降雨指標等) の検 討	避難動告等の判断基準の検討及び必要に応じた地域防災計画の見直し	岩美町	平成29年度から			実施予定
住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良	製造品土積積の消止消力を向ける場合	ple ser-	W-#			all the same of
		岩美町	平成30年度から		配布済	内容検討
	想定最大規模の洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成			作成		
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し	岩美町	平成30年度から	11-195	実施	内容検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討		岩美町岩美町	平成30年度から 平成30年度から	11-196	実施 実施予定	内容検討実施予定
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し	岩美町岩美町	平成30年度から 平成30年度から 一	11-196		
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまらなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームベージやデータ放送等のわかりやすい園園への改良や説明の表示	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し 電子板の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 -	岩美町岩美町	平成30年度から 平成30年度から — —	11-196		
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し	岩美町岩美町	平成30年度から 平成30年度から 一	実施		
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい商高への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 最等理水位服粉四川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との特理・共有、住民への記	広味避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し 電子板の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 - - - - - - - - - - - - -	岩美町岩美町一一十岩美町	平成30年度から 平成30年度から — —	安施	実施予定 内容検討	実施予定 内容検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水運等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームベージやデータ放送等のわかりやすい間高への改進や説明の表示 ホームベージやデータ放送等のアクセス方法の周知促進	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し 電子振の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	岩美町岩美町	平成30年度から 平成30年度から - - 平成30年度から		実施予定	実施予定
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい商高への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 最等理水位服粉四川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との特理・共有、住民への記	広味避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し 電子板の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 - - - - - - - - - - - - -	岩美町岩美町一一十岩美町	平成30年度から 平成30年度から - - 平成30年度から	安施	実施予定 内容検討	実施予定 内容検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画画への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 景管理水位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への別 知、訓練の美語	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し 電子板の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 一 一 町広報誌、ホームページ等の掲載 飛管環水位用短河川のタイムラインの運用及び検証 タイムラインを活用した訓練の実施	岩美町 岩美町 一 岩美町 岩美町	平成30年度から 平成30年度から - - 平成30年度から 平成29年度から	安施	実施予定 内容検討	実施予定 内容検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の建保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や提明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 展管理水位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への別 知、訓練の実施 各家庭毎の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し 電子振の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 一 一 町広報誌、ホームページ等の掲載 展管理水位用短河川のタイムラインの運用及び検証 タイムラインを活用した訓練の実施 会家協会の「家庭用災害・遅離カードの作成」の取締推進	岩美町 岩美町 岩美町 岩美町	平成30年度から 平成30年度から - - - 平成30年度から 平成30年度から 平成20年度から	安施	突施予定 内容検討 内容検討	突施予定 内容検討 内容検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の遵保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や提明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 展管理末位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への別 知、訓練の実施 各家庭毎の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な避難を使すわかりやすい避難情報の伝達文の検討	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し 電子振の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 一 一 町広報誌、ホームページ等の掲載 展管理水位用短河川のタイムラインの運用及び検証 タイムラインを活用した訓練の実施 会家協会の「家庭用災害・遅離カードの作成」の取締推進	岩美町岩美町一一岩美町岩美町岩美町岩美町岩美町	平成30年度から 平成30年度から 一 一 平成30年度から 平成30年度から 平成30年度から 平成20年度から	安施	突施予定 内容検討 内容検討	突施予定 内容検討 内容検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や認明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 無管理水位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への別知、別様の実施 日本企画経の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な避難を使すわかりやすい避難情報の伝達なの検討 河川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV)	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し 電子振の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 一 一 町広報誌、ホームページ等の掲載 展管理水位用短河川のタイムラインの運用及び検証 タイムラインを活用した訓練の実施 会家協会の「家庭用災害・遅離カードの作成」の取締推進	岩美町岩美町一一岩美町岩岩美町岩美町岩美町	平成30年度から 平成30年度から 平成30年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から	安施	突施予定 内容検討 内容検討	突施予定 内容検討 内容検計
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸米選等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい調面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 最後国水位量知河川等の助災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への記 知り継の実態 日常な遅軽度である。 世間では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、 日常な遅延度である。 日常な遅延度であかりやすい理難情報の伝達文の検討 河川情報画画の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(木位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し 電子振の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 一 一 町広報誌、ホームページ等の掲載 展管理水位用短河川のタイムラインの運用及び検証 タイムラインを活用した訓練の実施 会家協会の「家庭用災害・遅離カードの作成」の取締推進	岩美町岩美町一岩美町岩岩美町町岩美町町岩美町	平成30年度から 平成30年度から 	安施	突施予定 内容検討 内容検討	突施予定 内容被討 内容検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸米選等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい調面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 最後国水位量知河川等の助災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への記 知り継の実態 日常な遅軽度である。 世間では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、 日常な遅延度である。 日常な遅延度であかりやすい理難情報の伝達文の検討 河川情報画画の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(木位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見度し 電子振の企表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 	岩美町 岩美町 一 岩美町 岩美町 岩美町 岩美町 - 岩美町 - 岩美町	平成30年度から 平成30年度から 	安施	突施予定 内容検討 内容検討	突施予定 内容被討 内容検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定漢水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 機管理水位開知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への即 3、別籍の実態 各家庭等の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な避難を使すわかりやすい避難情報の伝達なの検討 河川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリピーメールの改良(水位情報追加) フッシュ型の漢水情報の発信 防災サインの書及促進 施設管理者への説明会実施	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見度し 電子振の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 	岩美町 岩美町 一 岩美町 岩美町 岩美町 岩美町 一 一 岩美町 一 一 岩美町 一 一 岩美町 一 一 岩 巻	平成30年度から 平成30年度から 一 一 一 平成30年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から	実施 実施 実施	突施予定 内容検討 内容検討	実施予定 内容検討 内容検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子原の公表や想定浸水深等のまらなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい層面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の局知促進 展管理水位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への別 3、別等の実施 同僚国政策を受けれかりやすい避難情報の伝達との検討 河川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信 防災サインの書及促進 施設管理者への説明会実施 遊覧確保計画の作成や遊離訓練実施の支援	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見度し 電子振の企表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 	岩美町 岩美町 一 岩美町 岩美町 岩美町 岩美町	平成30年度から - 平成30年度から - 平成30年度から - 平成30年度から - 平成29年度から - 平成29年度から	安施	突施予定 内容検討 内容検討	突施予定 内容検討 内容検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子原の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームベージやデータ放送等のわかりやすい調面への改良や説明の表示 ホームベージやデータ放送等のアクセス方法の局知促進 県管理水位無知項川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への別 加別航の実施 ・ 一年の大学・ 一年の大学・ 一年の大学・ 一年の大学・ 一年の大学・ 一年の 河川情報画面の提供先拡大 (データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良 (水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信 防災サインの書及促進 施設管理者への説明会実施 避難確保計画の作成や避難訓練実施の支援 記載管理者への説明会実施	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見度し 電子振の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 	岩美町 岩美町 一 岩美町 岩美町 一 一 岩美町 一 一 岩美町 一 一 岩美町 一 一 一 岩美町 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 ー ー ー ー ー ー ー	平成30年度から 平成30年度から 一 一 平成30年度から 平成30年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から 平成20年度から	実施 実施 実施	突施予定 内容検討 内容検討	実施予定 内容検討 内容検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子原の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい園面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の局知促進 県管理水位無知収川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への別 切別等の実施 日常庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な避難を受すわかりやすい避難情報の伝達なの検討 河川情報面面の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリピーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信 防災サインの書及促進 起設管理者への説明会実施 避難確保計画の作成や避難訓練実施の支援 記載管理者への説明会実施 起設管理者への説明会実施 起設管理者への説明会実施	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し 電子板の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 	岩美町 岩美町 一 一 岩美町 岩美町 岩美町 一 一 岩美町 岩美町 一 一 岩美町町 一 一 一 一 岩美町町 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	平成30年度から	実施	突施予定 内容検討 内容検討 内容検討	实施予定 内容検討 内容検討 内容検計
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい園面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 集管理水位原知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への別 机、別線の実施 日常な避難を促すわかりやすい避難情報の伝達文の検討 河川情報面面の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信 防災サインの普及促進 施設管理者への説明会実施 超難確保計画の作成や超難訓練実施の支援 犯監の拡大が等系列的にわかるシミュレーションの提供、公開 超難動告等の目安となる河川水位情報の自動配信 河川管理者と市町村長とのホットラインの定着	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見度し 電子振の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 	岩美町 岩美町 一 一 岩美町 岩美美町 一 一 岩美美町 一 一 岩美美町 一 一 岩美美町 一 一 岩美美町 一 一 一 岩美美町 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平成30年度から - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一	実施 実施 実施	突施予定 内容検討 内容検討	実施予定 内容検討 内容検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子原の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい園面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の局知促進 県管理水位無知収川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への別 切別等の実施 日常庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な避難を受すわかりやすい避難情報の伝達なの検討 河川情報面面の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリピーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信 防災サインの書及促進 起設管理者への説明会実施 避難確保計画の作成や避難訓練実施の支援 記載管理者への説明会実施 起設管理者への説明会実施 起設管理者への説明会実施	広域避難等の判断基準の検討、地域防災計画の見直し 電子板の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 	岩美町 岩美町 一 一 岩美町 岩美町 岩美町 一 一 岩美町 岩美町 一 一 岩美町町 一 一 一 一 岩美町町 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	平成30年度から	実施	突施予定 内容検討 内容検討 内容検討	实施予定 内容検討 内容検討 内容検計

	T			R1までの実施	1	
内容	実施内容	取組機関	目標時期	H29, H30, R1	R2年度実績	R3年度予定
				まる最マップ目を時に昨巛の軒	目し合同の昨《理校をつ/半地	県と合同の出前講座を2集落で
防災学習、出前講座等の実施	消防防災専門員による防災学習、出前講座等の実施	若桜町	継続実施	文え変マップ見直時に防災の話をしている。県と合同の出前講 支え愛マップ見直し支援。H29.3	区で実施	県と宮向の出削講座を2乗落で 実施予定 社会福祉協議会、包括支援セン
現場点検やワークショップを交えた支え愛防災マップの作成支援	消防防災専門員、福祉関係職員、社会福祉協議会職員、自治会連携による 支え愛マップの見直し支援	若桜町	継続実施	集落、H30,6集落、R1,18集落実	文元変 マラン元回じ文伝。 13条 落実施	ター、防災係合同で15集落実施 避難スイッチ事業を継続し、3
マップ等を活用した防災訓練の実施	町防災訓練を実施し、各集落の支え愛マップの検証を実施	若桜町	継続実施	R1, 防災士資格取得研修参加1	防災士資格取得者3名	集落で実施予定 防災士資格取得3名予定
防災リーダーの育成	研修会への参加。防災士資格取得助成	若桜町	継続実施	名、資格取得申請3名		
自主防災組織等の研修、講師の派遣	消防防災専門員により実施 目主防災組織組成の説明会を町の職員、消防団員合同で行い、消防団活動	若桜町	継続実施	落 H30,21集落 R1,13集落実施 H29年度1組織、H30 2組織、	研修 20集落実施 R 2 年度 1 組織結成済、全 2 9	R3年度2組織結成予定、引続
自主防災組織への支援と消防団活動への理解促進と両者の連携	の理解も得るようにしている。自主防災組織結成時の補助と活動を支援し エンス 避難所の開設に必要な資機材の整備推進	若桜町	継続実施	H31R1年度7組織結成済、全28組	組織 新型コロナウイルス感染症対策	き支援と消防団との連携を図る 資機材の追加・整備及び消耗品
必要な資機材の整備及び迅速な配備態勢の構築	迅速な配備態勢を構築	若桜町	継続実施	H30年7月豪雨時、注意喚起の防	物品の整備を行った。 ハザードマップに家庭の備蓄品	の補充・入替えを行う 非常持出し品の説明と避難所へ
家庭における防災備蓄の充実と避難所への持参、持ち寄りの啓発	家庭の防災備蓄3日分を推奨 ・避難所への持参、持ち寄りを啓発	若桜町	継続実施	災無線放送で備蓄品の準備、避 難所への持参・持ち寄りの広報 を実施 R1、町防災訓練で各集落自治会	一覧表を掲載・配付。町内全世 帯に非常持出し袋を配付、避難 所への持参・持ち寄りを啓発し 町防災訓練でコロナ対策の避難	の持参・持ち寄りの啓発推進。 町防災訓練で各集落対象の避難
住民による避難所自主開設の体制整備	住民による避難所自主的開設体制の整備。町の防災訓練で避難所運営訓練 実施	若桜町	継続実施	役員を対象にした避難所運営訓 練を実施	所運営訓練を実施。各集落は個 別訓練を実施。指定避難所と5集 落に避難所開設初動キットを配	所開設・運営訓練を実施予定。 10集落に避難所開設初動キット を配備予定。
鳥取型防災学習の充実・拡大・防災教育の促進	小・中一貫校と連携した防災教育	若桜町	継続実施	若桜学園に対し、小・中一貫し た教急講習と防災教育の働きか けを行った。	若桜学園 4 年生に防災学習を実 施。	教職員に対し、防災備蓄品の説 明と設置要領訓練を実施予定。 防災学習は継続実施。
水害・土砂災害等に関するシンポジウム	県と連携したシンポジウム等への参加及び周知	若桜町	継続実施	H30, 県主催のシンポジウム出席		県主催のシンポジウムに出席
地域の防災学習会、出前講座等	消防防災専門員により実施。県と合同の防災学習会・出前講座実施	若桜町	継続実施	R1, 裏山診断、簡易量水標取付、 防砂勉強会2集落	氷ノ山地区裏山診断、屋堂羅簡 易量水標取付	裏山診断、簡易量水標各2箇所 設置要望、砂防勉強会2集落予
河川管理者及び市町村長、防災担当者への研修	研修会への参加	若桜町	継続実施		リモートによる防災研修会実 施。	リモートによる防災研修会実 施。
市町村と要配慮者施設との情報伝達・共有化の体制づくり	福祉避難所連絡協議会の開催 情報連絡体制の強化、情報伝達訓練の実施	若桜町	継続実施	H29~R1要配慮者施設情報伝達訓 練実施	R2, 6, 1要配慮者施設情報伝達訓 練実施	R3,6要配慮者施設情報伝達訓練 実施
重点的に流下能力対策を推進 堤防の浸透対策、パイピング対策を実施		=	=			
短期の反との表示である。 計画的な予防保全型維持管理の推進 提防天端の保護を目的とした舗装を実施		=	=			
重点監視区間の設定と河川監視カメラ・水位計・量水標等の設置	-	_	_	R1岩屋堂量水標設置	R2屋堂羅量水標設置	若桜 (農人町) 地内三倉川に河 川監視カメラ設置予定、水位 計・量水標の設置を引続き要
I C T の導入による危険箇所の定点観測と経年データの蓄積 点検を担う人材育成(一般住民、防災ポランティア等)		=			深叶田しの奈日六橋会を中 佐	6064本中 4c
出水時における水防団・市町村との連携・役割分担	重点監視区間の設定及び役割分担の検討 重点監視等の実施	若桜町	平成29年度から		消防団との意見交換会を実施。 出水時の役割分担を確認。	継続実施 自治会長・自主防災会長との連
地域住民からの情報提供等の双方向での連絡体制の構築	連絡体制の確認・構築	若桜町	継続実施	R1. 県・水防団との意見交換会2	県・水防団との意見交換会2回実	絡体制の構築を図る
重要水防箇所の見直しと水防団等との共同点検及び水防資器材の確認	重要水防箇所の見直しと水防団等との共同点検及び水防資機材の確認	若桜町	継続実施	回実施	施 消防団員(水防団員)確保のた	継続実施
水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	水防団員確保のための広報等の検討及び実施	若桜町	継続実施 平成30年度か		めのポスター掲示	イベント、意見交換会への出席
水防団間での広域的な連携・協力に関する検討	水防団間での広域的な連携・協力の検討	若桜町	ь	R1, 総合防災訓練·水防講習会参		町防災訓練(土砂災害)に参加
総合防災訓練・水防講習会	町防災訓練を実施	若桜町	継続実施	加		到 例 久 副 禄 〈 工 砂 久 昌 / に シ 加
河川防災ステーションの活用	_	_	_			
浸水常製地区等における排水施設・資機材及び樋門等の確実な運用と警戒避難体制の整備、排水対策の推進	樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保と警戒避難体制の整備	若桜町	平成29年度から			樋門の管理について、役割・規 則等の確認
ダムの柔軟な運用について、操作規則等の総点検の実施	_					つく米川沿い集落の代表者との
ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施	ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施	若桜町	令和3年度から			意見交換会の実施 流木による閉塞トラブルスポッ
流木による閉塞トラブルスポットの抽出と代表流域における総合的な流木対策の検討	_	若桜町	令和3年度から	病院・福祉施設関係者との連絡	R2, 7, 7病院・福祉施設関係者と	トの抽出と流木対策の検討 継続実施
市町村庁舎や災害拠点病院等の施設管理者への情報伝達の充実 市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策(耐水化、非常用発電等の整備) 利水摂製品(基準)前放流の積極的実施に関する利水調整 大量を製品の機能性、上	情報伝達体制・方法の検討 役場庁舎の耐水化・非常用発電機の整備の検討 	若桜町	H28年度から H29年度から 一	会議の開催。H28,H30	の連絡会議の開催	
<u> </u>	_	若桜町	一 令和3年度から			ダム決壊時の浸水想定区域図の 作成要望
水位計、ライブカメラの設置、警報車からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討	防災カメラ設置済み 水位計の設置、広報等検討していく。	若桜町	継続実施			水位計、河川監視カメラの増設 要望
ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める	ダム放流時の浸水予想図ができた時点で流域集落に説明会を実施する。	若桜町	令和元年度から	_		つく米川沿い集落の代表者との 意見交換会の実施
推砂対策の推進		_	令和元年度か			つく米川沿い集落との意見交換
ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民周知	周知を図る。	若桜町	ь	_		会の実施 防災士資格取得3名予定
防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難訓練の実施	_	_				
想定最大規模の洪水浸水想定区域等の提供	若桜町防災ハザードマップ作成	若桜町	令和元年度から	R1, ハザードマップに洪水浸水想 定区域を記入したものを作成。 町内全戸配付	集落防災研修でハザードマップ の説明 (20集落で実施)	集落防災研修でハザードマップ の説明
水位周知河川等の指定促進	水位周知河川の追加指定の検討	若桜町	平成29年度から	可内主户配り		避難判断水位 (特別警戒水 位) 、氾濫危険水位 (危険水
浸水実績等の周知	浸水実績等の住民への周知	若桜町	ヤル25年度か 令和元年度か	R1, ハザードマップに洪水浸水想	集落防災研修でハザードマップ	集落防災研修でハザードマップ
鳥取方式の洪水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供	若桜町防災ハザードマップ作成	若桜町	市和元年度から	定区域を記入したものを作成。 町内全戸配付	の説明 (20集落で実施)	の説明 若桜町避難勧告等の判断基準の
県の実情を踏まえた早めの避難判断基準 (水位) の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難勧告等の目安 (雨量情報、降雨指標等) の 核約	トラスター	若桜町	ー 平成30年度か ら	H30~R1須澄・神直・中原に簡易 水位計設置。R1. 岩屋堂に簡易量 水標設置。河川に水位を見に行 くことなく防災カメラで水位を	屋堂羅に簡易水位計設置。	見直し 河川監視カメラ、簡易水位計の 設置要望
					他 拉叶 W TE M	维拉卧纵面产业
住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良	洪水浸水簡易想定区域図に基づくハザードマップの作成	若桜町	令和元年度	RI、岩桜町防災ハサートマッフ作成	集落防災研修でハザードマップ の説明 (20集落で実施) 広域避難等の判断基準や避難場	集落防災研修でハザードマップ の説明 継続実施
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討	広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討	若桜町	令和2年度から		広域避難寺の判断基準や避難場 所等の確保についての検討	継続美施
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進		若桜町若桜町	平成29年度か			集落防災研修で周知
県管理水位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理·共有、住民へ	防災行動計画(タイムライン)の作成。防災ハザードマップに各家庭用の	若桜町	ら 令和元年度	R1. 防災ハザードマップに各家庭 用の防災行動計画(マイタイム	継続実施	集落防災研修で周知
の周知、訓練の実施	防災行動計画(マイタイムライン)の記事を掲載			ライン)の記事を掲載 災害情報カードの作成、配付	継続実施	継続実施
各家庭毎の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な避難を促すわかりやすい避難情報の伝達文の検討	ハザードマップに添付し取り組みを推進する。 防災無線・IP電話・エリアメール等の情報伝達文の検討	若桜町	平成30年度 平成29年度か	わかりやすい避難情報伝達文の	継続実施	継続実施
河川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV)	切火無感・IF 电値・エファメール寺の情報伝達文の模計 	石板町		作成		
あんしんトリピーメールの改良 (水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信	-	=	=	R1. 防災ハザードマップに冬室座	県主催の「避難スイッチ」モデ	継続実施
防災サインの普及促進	防災サイン、マイタイムラインの普及促進	若桜町	平成29年度か ら	用の防災行動計画 (マイタイム ライン) の記事を掲載	ル事業実施 (上町・中町・西 町)	
施設管理者への説明会実施		-	-	亚成20年度 基础短标点:	画」等聞き取り調査実施	継続実施
避難確保計画の作成や避難訓練実施の支援	消防防災専門員により実施	若桜町	平成29年度か ら実施	平成29年度、地域福祉セン ター、わかさあすなろ、わかさ こども園、若桜学園、4施設が作	調査と検証	継続実施
地区防災計画の作成や検証、避難訓練の支援 氾濫の拡大が時系列的にわかるシミュレーションの提供、公開	消防防災専門員により実施 	若桜町	平成30年度か ら実施 一	平成31年4月大野自主防災会、令 和元年6月西町自主防災会、令和 2年3月氷ノ山観光業者組合作成	令和2年11月1日糸白見自主防災 会作成済み。	継続実施。訓練の実施と検証
選権動き等の目安となる河川水位情報の自動配信 河川管理者と市町村長とのホットラインの定着	― 河川管理者と町長とのホットラインの活用	一 若桜町	一 平成29年度か	河川管理者と町長とのホットラ	河川管理者と町長とのホットラ	継続実施
河川管理者と市町付長とのボットフィンの定者 過去の洪水時の雨量と水位の関係整理	河川管理者と町長とのボットラインの活用 平成19年8月局地的豪雨、平成30年7月豪雨時の雨量・水位の整理		ら 平成30年度か	イン設定済み	イン設定済み 過去の洪水時の雨量と水位の関	継続実施
	〒1961年10月19月1日 1961年1日 1961年1日	若桜町	è		係整理	
県管理河川の水位予測の検討		_	_		Ì	

〇級ね5年で実施する取組

内容	実施内容	取組機関	目標時期	Riまでに実施 H30、Ri	R2年度実績	R3年度予定
島取集の強み「支え愛」による地域防災力の強化				nau, Ri		
(1) 地域の防災体制づくり						
防災学習、出前講座等の実施	防災専門員による防災学習等の実施	智頭町	継続実施	支え愛マップ作り事業内で実施	なし	支え愛マップ作り事業内で実施
現場点検やワークショップを交えた支え愛防災マップの作成支援	消防防災専門員、福祉関係職員、社会福祉協議会職員、自治会連携による支え愛 マップの見直し支援	智頭町	継続実施	H30:16件·説明会10件 R1:14件·説明会8 件	なし	10件·説明会5件/年
マップ等を活用した防災訓練の実施	町防災訓練を実施し、各集落の支え愛マップの検証を実施	智頭町	継続実施	H30:山郷地区 R1:智頭地区	なし	R3:山影地区
防災リーダーの育成	研修会への参加	智頭町	継続実施	なし	なし	鳥取市防災リーダー研修へ参加
自主防災組織等の研修、講師の派遣	防災専門員により実施	智頭町	継続実施	H30:1件 R1:11件	なし	5件/年
自主防災組織への支援と消防団活動への理解促進と両者の連携	自主防災組織の育成強化と消防団と連携した避難訓練の実施	智頭町	平成29年度から	H30:山郷地区 R1:智頭地区	なし	R3:山形地区
必要な資機材の整備及び迅速な配備態勢の構築	必要な資機材の整備及び迅速な配備態勢の構築	智頭町	平成30年度から	H30:補助制度創設&3件実施 R1:1件	2件実施	5件/年
家庭における防災備蓄の充実と避難所への持参、持ち寄りの啓発						
住民による避難所自主閉設の体制整備						
(2) 住民の水害に対する心構えと知識を備える方策						
鳥取型防災学習の充実・拡大・防災教育の促進	小中学校等と連携した防災教育の推進	智頭町	平成30年度から	R1:量水標設置イベント	なし	検討中
水害・土砂災害等に関するシンポジウム	果と連携したシンポジウム等への参加及び周知	智頭町	継続実施	H30:パネリスト	なし	参加予定
地域の防災学習会、出前講座等	消防防災専門員により実施。 景の出前講座の利用。	智頭町	継続実施	支え愛マップ作り事業内で実施	なし	支え愛マップ作り事業内で実施
河川管理者及び市町村長、防災担当者への研修	研修会への参加	智頭町	維続実施	参加	なし	参加
市町村と要配慮者施設との情報伝達・共有化の体制づくり	防災担当課、福祉担当課、社会福祉協議会との連携	智頭町	継続実施	実施	実施	実施
島取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策						
(1) 河川・堤防機能の脆弱性評価を活用したハード対策の推進						
重点的に流下能力対策を推進		-	-			
堤防の浸透対策、パイピング対策を実施	_	-	-			
計画的な予防保企型維持管理の推進	_	_	_			
堤防天端の保護を目的とした舗装を実施		_	_			
(2) 河川・堤防機能の能弱性評価を活用した水防体制の強化・効率化						
重点監視区間の設定と河川監視カメラ・水位計・量水標等の設置	_	_	_			
I C T の導入による危険箇所の定点観測と経年データの蓄積	_	_	_			
点検を担う人材育成(一般住民、防災ボランティア等)	重点監視区間の設定及び役割分担の検討	40 75 0+	TI #20### 4\ 5	J. M. Black	4.	
出水時における水防団・市町村との連携・役割分担	重点監視等の実施	智頭町	平成29年度から	水防訓練	なし	水防訓練
地域住民からの情報提供等の双方向での連絡体制の構築	連絡体制の確認及び検討	智頭町	平成29年度から	世話人リスト	世話人リスト	世話人リスト
重要水防筋所の見直しと水防団等との共同点検及び水防資器材の確認	重要水防箇所の見直しと水防団等との共同点検及び水防資機材の確認	智頭町	継続実施	県・水防団・町との意見交換会開催	なし	検討中
水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	水防団員確保のための広報等の検討及び実施	智頭町	平成29年度から	団員候補者への戸別訪問	団員候補者への戸別訪問	団員候補者への戸別訪問
水防団間での広域的な連携・協力に関する検計 総合防災訓練・水防講習会	水防団間での広域的な連携・協力の検討 町水防訓練を実施	智頭町	平成30年度から 継続実施	訓練・会議の実施 H30: 山郷地区 R1: 智頭地区	なし 中止	訓練・会議の実施 R3:山形地区
高口的火訓練・小奶納音玄 河川防災ステーションの活用	四 小川 訓練で失能	**************************************	相视失兆	130-四類形区 KI-省頭形区	HT.	ка-штуледа.
河川IIIのスペテーションの沿出 (3) 平成29年九州北部豪雨や台風豪雨を踏まえた警戒避難体制の整備・対策	-	_	_			
浸水常襲地区等における排水施設・資機材及び樋門等の確実な運用と警戒避難体制の整備、排水対策の推進	樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保と警戒避難体制の整備	智頭町	平成29年度から	樋門開閉委託1カ所	樋門開閉委託1カ所	樋門開閉委託1カ所
ダムの柔軟な運用について、操作規則等の総点検の実施	_	_	_			
ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施	ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施	智頭町	平成29年度から	IP告知端末利用	IP告知端末利用	IP告知端末利用
流木による閉塞トラブルスポットの抽出と代表流域における総合的な流木対策の検討	_	_	_			
市町村庁舎や災害拠点病院等の施設管理者への情報伝達の充実	職員参集システムの活用	智頭町	平成29年度から	職員参集システム活用	職員参集システム活用	職員参集システム活用
市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策(耐水化、非常用発電等の整備)	庁舎の非常用発電設備の更新	智頭町	平成29年度	=	=	=
利水調整関係者協議と事前放流の積極的実施に関する利水調整	_	_	_			
流入量予測の精度向上	_	-	-			
ダム下流の浸水想定区域図の作成	_	-	-			
水位計、ライブカメラの設置、警報車からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討	新たな情報発信方法の検討	智頭町	平成30年度	=	IP告知での閲覧検討	IP告知更新時に反映予定
ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める	ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議	智頭町	平成29年度から	中国電力による説明会の開催	なし	中国電力による説明会の開催
塩砂対策の推進	-	_	-			
ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民周知	ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民周知	智頭町	平成29年度から	中国電力による説明会の開催	なし	中国電力による説明会の開催
防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難訓練の実施	_	-	_			
住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供						
(1) 水害リスク情報等の共有						
想定最大規模の洪水浸水想定区域等の提供						
	_	_	_			
水位間知河川等の指定促進	水位周知河川の追加指定の検討	一 智頭町	 平成29年度から	検討	検討	検討
水位周知河川等の指定促進 浸水実績等の周知	一 水位周知河川の追加指定の検討 浸水実績等の住民への開知			検討検討	検討検討	検討検討
		智頭町	平成29年度から			
浸水実績等の周知		智頭町智頭町	平成29年度から 平成30年度から			
浸水来植等の開知 鳥取方式の洪水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供	漠水東航等の住民への周知 	智頭町智頭町	平成29年度から 平成30年度から			
遠水実績等の周知 島取方式の洪水浸水リスク図による概ねの遠水範囲等の情報提供 策の実情を踏まえた早めの避難判断基準 (水位) の運用 水位周地河川等に指定されていない河川の超離動告等の目安 (所置情報、降雨指標等) の検 対	漢水東信等の住民への周知 	智頭町智頭町	平成29年度から 平成30年度から 	検討	検討	検討
遠水実績等の周知 島取方式の洪水浸水リスク図による概ねの速水範囲等の情報提供 策の実情を踏まえた早めの避難判断基準 (水位) の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難勧告等の目安 (雨量情報、降雨指標等) の検 対 2) 円滑かつ迅速な避難の実現	漢水東領等の住民への周知 一 一 一 避難動告判断基準の設定の検討	智頭町智頭町	平成29年度から 平成30年度から - - - - - - - - - - - - - - - - -	検討検討	検討	検討検討
遠水実績等の周知 鳥取方式の洪水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供 県の実情を誇まえた早めの避難判断基準 (水位) の運用 水位開知河川等に指定されていない河川の避難勧告等の目安 (雨量情報、降雨指標等) の検 対 2) 円滑かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良	漢水東信等の住民への周知 	智頭町智頭町一一智頭町	平成29年度から 平成30年度から 	検討	検討	検討
遠水実績等の周知 鳥取方式の洪水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供 県の実情を踏まえた早めの避難判断基準 (水位) の運用 水位開始河川等に指定されていない河川の避難勧告等の目安 (雨量情報、降雨指標等) の検 計 2) 円滞かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難指所等の確保についての検討	漢水東領等の住民への周知 一 一 一 避難動告判断基準の設定の検討	智頭町	平成29年度から 平成30年度から - - - 平成29年度から 平成30年度から	検討検討	検討	検討検討
遠水実績等の周知 鳥取方式の洪水浸水リスク図による概ねの淡水範囲等の情報提供 県の実情を踏まえた早めの避難判断基準 (水位) の連用 水位開加河川等に指定されていない河川の避難勧告等の目安 (雨量情報、降雨指標等) の検 計 2) 円滞かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子仮の公表や想定波水深等のまちなかでの表示の検討	漢水東領等の住民への周知 一 一 一 避難動告判断基準の設定の検討	智頭町智頭町	平成29年度から 平成30年度から - - - 平成29年度から 平成30年度から	検討検討	検討	検討検討
遠水実績等の周知 鳥取方式の洪水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供 県の実情を踏まえた早めの避難判断基準 (水位) の運用 水位開加河川等に指定されていない河川の避難勧告等の目安 (雨量情報、降雨指標等) の検 計 2) 円滞かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基率や避敗補所等の確保についての検討 電子板の公表や想定波水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討	漢水東領等の住民への周知 一 一 一 避難動告判断基準の設定の検討	智頭町	平成29年度から 平成30年度から - - - 平成29年度から 平成30年度から	検討検討	検討	検討検討
浸水実績等の周知 動取方式の洗水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供 根の実情を請まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 2) 円滞かつ迅速な避難の実現 住民にかがりやすいバザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまらなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示	漢水実績等の住民への周知	智頭町 智頭町 一 智頭町 智頭町 一 一	平成29年度から 平成30年度から 	機計機計	検討 検討 更新実施	検討検討
遠水実績等の周知 鳥取方式の洪水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供 県の実情を踏まえた早めの避難判断基準 (水位) の運用 水位開加河川等に指定されていない河川の避難勧告等の目安 (雨量情報、降雨指標等) の検 計 2) 円滞かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基率や避敗補所等の確保についての検討 電子板の公表や想定波水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討	漢水東領等の住民への周知 一 一 一 避難動告判断基準の設定の検討	智頭町	平成29年度から 平成30年度から 	検討検討	検討	検討検討
浸水実績等の周知 動取方式の洗水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供 根の実情を請まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 2) 円滞かつ迅速な避難の実現 住民にかがりやすいバザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまらなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示	漢水実績等の住民への周知	智頭町 智頭町 一 智頭町 智頭町 一 一	平成29年度から 平成30年度から 	機計機計	検討 検討 更新実施	検討検討
遠水実績等の周知 動取方式の洗水浸水リスク図による概ねの速水範囲等の情報提供 根の実情を指まえた早めの避難判断基準 (水位) の適用 水位周知河川等に指定されていない河川の超難動告等の目安 (雨量情報、降雨指標等) の検 対 12 円滑かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいバードマップの作成・改良 広域超難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子板の公表や想定後水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 単管理水位展知河川等の防災行動計画 (タイムライン) の市町村との整理・共有、住民への原 対、別義の実施	漢水実績等の住民への周知	智頭町	平成29年度から 平成30年度から - - - - - - - - - -	機計機計	検討 検討 更新実施	検討検討
遠水実績等の周知 動取方式の洗水浸水リスク図による概ねの速水範囲等の情報提供 根の実情を指まえた早めの避難判断基準 (水位) の適用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安 (雨量情報、降雨指標等) の検 対 12 円滑かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいバザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子板の公表や想定後水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 集管理水位展知河川等の防災行動計画 (タイムライン) の市町村との整理・共有、住民への居 均、別様の実施	漢水東領等の住民への周知	智頭町	平成29年度から 平成30年度から 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	検討 検討	検討 検討 更新実施 SNSで開知	検討 検討 継続検討 SNSで開知
遠水実績等の周知 動取方式の洪水浸水リスク図による概ねの遠水範囲等の情報提供 県の実情を指まえた學のの選維判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の超難動告等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 対 12 円滑かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定達水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の人手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面の改良や認明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面の改良や認明の表示 ホームページやデータ放送等のカウリンの非可能と認明の表示 ホームページやデータ放送等のアウセス方法の周知促進 県管理水位開知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への原 知、別緒の実施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	漢水実績等の住民への周知	智頭町	平成29年度から 平成30年度から - - - - - - - - - -	機計機計	検討 検討 更新実施	検討検討
遠水実績等の周知 島取方式の洪水浸水リスク図による概ねの遠水範囲等の情報提供 県の実情を指まえた学めの避難判断基準 (水位) の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の超難動告等の目安 (雨量情報、降雨指標等) の検 計 12 円滑かつ迅速位避難の実現 住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や砂定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の人手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面の改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面の改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面の改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面の改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりです。 最管理人位展知河川等の防災行動計画 (タイムライン) の市町村との整理・共有、住民への原 知、別能の実施 ・ 事業の実施でいまります。 ・ 事業の表がでいまります。 ・ 事業の実施でいまります。 ・ 事業の実施でいまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまりまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまりまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまりまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまりまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまりまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまりまります。 ・ 事業のではまります。 ・ 事業のではまりまする。 ・ 事業のではま	漢水東領等の住民への周知	智頭町	平成29年度から - ア成30年度から - ア成30年度から - ア成20年度から - ア成20年度から - バック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	検討 検討	検討 検討 更新実施 SNSで開知	検討 検討 継続検討 SNSで開知
浸水実績等の周知 島取方式の洗水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供 根の実情を誇まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動色等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 12) 円滞かつ迅速な避難の実現 住民にかいりやすいいザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまらなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の用知促進 集管理人位無知川川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への居 が、別緒の実施 各家庭毎の「家庭用災害・避難カードの作成」の取機推進 円滑な避難を使すわかりやすい避難情報の伝達文の検討 河川情報画画の提供失拡大(データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(水位情報を加)	漢水東領等の住民への周知	智頭町 智頭町 一 一 智頭町	平成29年度から - 一成29年度から - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一	検討 検討	検討 検討 更新実施 SNSで開知	検討 検討 解験検討 SNSで開知
浸水実績等の周知 島取方式の洗水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供 根の実情を誇まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動色等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 12) 円滞かつ迅速な避難の実現 住民にかがりやすいいザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 集管理人位無知川川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への居 が、別線の実施 各家庭毎の「家庭用災害・避難カードの作成」の取機推進 円滑な避難を使すわかりやすい避難情報の伝達文の検討 河川情報画画の提供失拡大(データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(水位情報途加) ブッシュ型の泉水情報の発信	漢水実績等の住民への周知	 Y 경제하 무료 무面 무面 무面 무面 무面 무面 中面 中面 中面	平成29年度から - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一	機計 機計 機計 SNSで開知	検討 検討 更新実施 SMSで周知 検討	機計 機計 組続機計 SNSで開始 機計
浸水実績等の周知 動取方式の洗水浸水リスク間による概ねの浸水範囲等の情報提供 娘の実情を讃まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 が位置となる。 では正規等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子医の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 素管理水位開知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への規 加、期待の実施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	漢水東領等の住民への周知	발교학	平成29年度から - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一	検討 検討	検討 検討 更新実施 SNSで開知	検討 検討 解続検討 SNSで開知
浸水実績等の周知 動取方式の洗水浸水リスク間による概ねの浸水範囲等の情報提供 娘の実情を踏まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 が位置地河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 位置にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広域避難等の制断基準や避難場所等の確保についての検討 電子医の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 機管理と位置的河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への規 加、期间の実施 ・ 音楽監督を関すわかりやすい避難情報の伝送文の検討 河川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洗水情報の免債 防災サインの響及促進 総設管理者への説明会実施	漢水実績等の住民への周知	 Y 경제하 무료 무面 무面 무面 무面 무面 무面 中面 中面 中面	平成29年度から - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一	機計 機計 機計 SNSで開知	検討 検討 更新実施 SMSで周知 検討	検討 検討 組続検討 SNSで開始 検討
浸水実績等の周知 動取方式の洗水浸水リスク間による概ねの浸水範囲等の情報提供 娘の実情を讃まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 が位置となる。 では正規等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 電子医の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 素管理水位開知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への規 加、期待の実施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	漢水実績等の住民への周知	발교학	平成29年度から - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一	機計 機計 機計 SNSで開知	検討 検討 更新実施 SMSで周知 検討	機計 機計 組続機計 SNSで開始 機計
浸水実績等の周知 動取方式の洗水浸水リスク間による概ねの浸水範囲等の情報提供 娘の実情を踏まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 が位置地河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 位置にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広域避難等の制断基準や避難場所等の確保についての検討 電子医の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 機管理と位置的河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への規 加、期间の実施 ・ 音楽監督を関すわかりやすい避難情報の伝送文の検討 河川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洗水情報の免債 防災サインの響及促進 総設管理者への説明会実施	漢水実績等の住民への周知	발교학 발교학 	平成29年度から - 下成30年度から - 下成30年度から - 下成20年度から - 平成20年度から - 小 - 小 - 小 - 小 - 小 - 小 - 小 - 小 - 小 - 小	機計 機計 機計 SNSで開知	検討 検討 更新実施 SMSで周知 検討	検討 検討 継続検討 SNSで開知 検討
浸水実績等の周知 動取方式の洗水浸水リスク間による概ねの浸水範囲等の情報提供 根の実情を指まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 では選問等の側断基本や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまらなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 場管理と位果知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への原 地、別等の実施 円派な避難を世ずわかりやすい避難情報の配送なり検討 河川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリピーメールの改良(水位情報途加) ブッシュ型の洗水情報の免債 防災サインの審及促進 拡設管理者への説明会実施 超難確実計画の作成や避難訓練実施の支援	漢水実績等の住民への周知	 管 경제학 	平成29年度から - 平成29年度から - 平成29年度から - 平成29年度から - 平成29年度から	機計 機計 機計 SNSで開知	検討 検討 更新実施 SMSで周知 検討	検討 検討 継続検討 SNSで開知 検討
浸水実績等の周知 動取方式の洗水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供 根の実情を指まえた早のの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難動告等の目安(雨豊情報、降雨指標等)の検 打 22 円滑かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広域理器等の側断基準や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 報管理状位展知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への原 地、別域の実施 ・ 密度協会の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円満な避難を使すわかりやすい避難情報の伝達文の検討 河川情報画面の提供気法大「データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の泉水情報の免債 防災サインの書及促進 施設管理者への説明会実施 超数確保計画の作成や避難別解実施の支援 起数管理者への説明会実施	漢水実績等の住民への周知	 管 제하 	平成29年度から	機計 機計 機計 SNSで開知	検討 検討 更新実施 SNSで周知 検討	検討 検討 継続検討 SNSで開知 検討
及水実領等の周知 動取方式の洗水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供 根の実情を指まえた早めの避難判断基準(水位)の運用 水位周知河川等に指定されていない河川の避難勧告等の目安(雨量情報、降雨指標等)の検 計 2.2 円滑かつ迅速な避難の実現 住民にわかりやすいいザードマップの作成・改良 広域避難等の判断基本や避難場所等の確保についての検討 電子版の公表や想定洗水深等のまちなかでの表示の検討 スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や設等の表示 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や設等の表示 ホームページやデータ放送等のカックセス方法の周知促進 報管理水位県加河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への担 2. 別緒の実態 の表面側の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な温難を使すわかりやすい避難情報の伝達文の検討 河川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリピーメールの設度(水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の免債 防災サインの事及促進 施設管理者への説明会実施 超速強便計画の作成や避難別検実施の支援 氾濫の拡大が等系列的にわかるシミュレーションの提供、公開 避難効能等の目安となる河川水位情報の自動配信	漢水炭積等の住民への周知 一 一 起難勧告判断基準の設定の検討 朝島浸水想定区域図に基づくハザードマップ作成の検討 一 一 一 市広報報等による周知 一 一 市防災無線、告知端末、緊急連報メールでの情報伝達の検討 ー ー 市 防災無線、告知端末、緊急連報メールでの情報伝達の検討 ー ー ー 市 防災事	管頭門 管頭門 管頭門 管頭門	平成29年度から - 一	核計 核計 核計 SNSで開知 核計	検討 検討 更新実施 SMSで開知 検討	検討 検討 網続検討 SNSで開始 検討

內容	突旋內容	取組織問	目標時期	R1までの実施 H29、H30、R1	R2年度実績	R3年度予定
				H29, H30, K1		
						77公州易会室第
防災学習、出前講座等の実施	防災学習、出前講座等の実施	八頭町	継続実施	県と合同で実施	実施	4/2分団長会実施 10/28米国防災会 経統実施 2件実施 継続実施
現場点検やワークショップを交えた支え愛防災マップの作成支援 マップ等を活用した防災訓練の実施	支え愛マップづくりを通した現地点検や避難経路の実証 浸水を想定した避難訓練の実施検討	八頭町	平成30年度から 平成29年度から	防災訓練で実施	実施 防災訓練で実施	2件実施 継続実施 総続実施 継続実施
防災リーダーの育成	まちづくり委員会による防災士の育成	八頭町	継続実施	防災士を毎年3名資格取得	防災士資格3名	11/14~15
自主防災組織等の研修、講師の派遣	防災意識の高揚と避難所運営学習会	八頭町	継続実施		防災訓練で実施	8/30に実施 継続実施
自主防災組織への支援と消防団活動への理解促進と両者の連携	防災訓練等への支援や、消防団との合同訓練の実施	八頭町	継続実施	防災訓練で実施	防災訓練等で実施	8/30防災損機 3/7八東合同訓練 継続実施
必要な資機材の整備及び迅速な配備態勢の構築	必要な資機材の整備に努める。	八頭町	平成29年度から			コロナのため、 町報で啓発 継続実施
家庭における防災備蓄の充実と避難所への持参、持ち寄りの啓発	防災マップの配布や自主防災疎域への出前講座、研修会で説明する。	八頭町	平成29年度から	防災訓練を通じて実施	町報で啓発実施	町板で啓発 継続実施
住民による避難所自主開設の体制整備						
鳥取型防災学習の充実・拡大・防災教育の促進	小中学校等と連携した防災教育の推進	八頭町	継続実施	量水標設置イベントを通じて実施	2 小学校で防災学習実施	都家西小学校 八東小学校 継続実施
水害・土砂災害等に関するシンポジウム	県と連携したシンポジウム等への参加及び周知	八頭町	継続実施	県主催のシンポジウムに参加	コロナ対策で参加なし	参加予定
地域の防災学習会、出前講座等	地域住民対象の防災学習会を実施。	八頭町	継続実施	支え愛マップ作りで実施	支え愛マップ作りで実施	継続実施
河川管理者及び市町村長、防災担当者への研修	研修への参加	八頭町	平成29年度から	参加	参加	^{6/1連絡会} 参加予定
市町村と要配慮者施設との情報伝達・共有化の体制づくり	情報連絡体制の確認及び強化	八頭町	継続実施	実施	実施	継続実施
重点的に流下能力対策を推進		_	-			
堤防の浸透対策、パイピング対策を実施	_	_	-			
計画的な予防保全型維持管理の推進	_	-	-			
堤防天端の保護を目的とした舗装を実施	-	_	-			
重点監視区間の設定と河川監視カメラ・水位計・量水標等の設置	L	_	_			
I C Tの導入による危険箇所の定点観測と経年データの蓄積	<u> </u>		_			
直検を担う人材育成 (一般住民、防災ボランティア等)	_	_	-			
出水時における水防団・市町村との連携・役割分担	重点監視区間の設定を検討	八頭町	平成29年度から	防災訓練を通じて実施	防災訓練を通じて実施	8/30に実施 継続実施
地域住民からの情報提供等の双方向での連絡体制の構築	防災行政無線等による地域住民からの情報提供の呼び掛け	八頭町	継続実施		防災行政無線で実施	
重要水防箇所の見直しと水防団等との共同点検及び水防資器材の確認	重要水防箇所の見直しと水防団等との共同点検及び水防資機材の確認	八頭町	継続実施	県と水防団との意見交換を実施	県と水防団との意見交換を実施	4/2意見交換会 維続実施
水防に関する広報の充実 (水防団確保に係る取組) 水防団間での広域的な連携・協力に関する検討	水防団間での広域的な連携・協力の検討	八頭町	平成30年度から 平成30年度から	分団長会で実施	分団長会で実施	継続実施
表合防災損線・水防講習会 総合防災損線・水防講習会	所図 同じの広域的な連携・協力の検討 所防災訓練を実施。	八頭町	平成29年度から	カロ 安施中	実施中	総統実施
河川防災ステーションの活用		_	-			
漫水常誌地区等における排水施設・資機材及び樋門等の確実な運用と警戒避難体制の整備、排水対策の推進	■ 植門操作協力員への適正運用の周知と警戒避難体制の整備	八頭町	継続実施			
ダムの柔軟な運用について、操作規則等の総点検の実施 ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施	ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施	_	_			
流木による閉塞トラブルスポットの抽出と代表流域における総合的な流木対策の検討		_	_			
市町村庁舎や災害拠点病院等の施設管理者への情報伝達の充実	役場内の情報共有システムの活用	八頭町	継続実施	職員参集システムを活用	職員参集システムを活用	継続活用
市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策(耐水化、非常用発電等の整備)	-	-	-			
利水調整関係者協議と事前放流の積極的実施に関する利水調整	_	_	-			
流入量予測の精度向上 ダム下流の浸水想定区域図の作成	-	_	_			
アム下派の浸水池上は中国のTFR 水位計、ライブカメラの設置、警報車からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討	_	_	_			
ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める	_	_	_			
堆砂対策の推進	-	-	-			
ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民周知	_	-	-			
防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難訓練の実施	-	-	-			
想定最大規模の洪水浸水想定区域等の提供	_	_	_			
水位周知河川等の指定促進	水位周知河川の追加指定の検討	八頭町	平成29年度から	検討中	検討中	検討
浸水実績等の周知	浸水実績等の住民への周知	八頭町	平成29年度から	検討中	検討中	検討
鳥取方式の洪水浸水リスク図による概ねの浸水範囲等の情報提供	-	-	-			
果の実情を踏まえた早めの避難判断基準(水位)の運用	過去の水位上昇記録等による危険個所の判断基準の検討	八頭町	平成29年度から	実施中	実施中	継続実施
水位周知河川等に指定されていない河川の避難勧告等の目安 (雨量情報、降雨指標等) の検 討	中小河川の水位情報・雨量情報の追加設置	八頭町	平成30年度から	検討中	検討中	検討
住民にわかりやすいハザードマップの作成・改良			平成30年度	作成済	検討中	検討
広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討	果のその他河川簡易浸水想定に基づき、ハザードマップ修正版を作成予定。	八頭町				
	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。	八頭町	平成30年度から	検討中	検討中	検討
電子版の公表や想定浸水深等のまちなかでの表示の検討		八頭町	平成30年度から 平成30年度から	検討中検討中	検討中	検討
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。	八頭町 八頭町	平成30年度から 平成30年度から 一			
	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。	八頭町	平成30年度から 平成30年度から			
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 飛管理水位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との参理・共有、住民への居	他自治体との情報共有や運統体制の整備。 ホームページでの公表、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。	八頭町 八頭町 一 一 八頭町	平成30年度から 平成30年度から ー ー 機続実施	検討中 防災マップに掲載	検討中	検討総統実施
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。 ホームベージでの公表、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。 - - - - - - - 	八頭町八頭町	平成30年度から 平成30年度から 	検討中	検討中	検討
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 飛管理水位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との参理・共有、住民への居	他自治体との情報共有や運統体制の整備。 ホームページでの公表、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。	八頭町 八頭町 一 一 八頭町	平成30年度から 平成30年度から ー ー 機続実施	検討中 防災マップに掲載	検討中	検討総統実施
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい関面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 無管理水位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への周知、別議の実施 名家庭毎の「家庭用災害・遅刻カードの作成」の取組推進 円滑な遅載を促すわかりやすい遅難情報の伝達文の検討	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。 ホームページでの公衰、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。 ー ー 各種広報媒体を活用しての周知 風管理水位周知河川のタイムラインの運用及び検証 タイムラインを活用した訓練の実施	八頭町 一 一 一 一 一 一 八頭町	平成30年度から 平成30年度から 一 総続実施 平成29年度から 平成20年度	検討中 防災マップに掲載 検討中	検討中 防災マップに掲載 検討中	検討 総研実施 検討
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの核討ホームページやデータ放送等のわかりやすい園面への改良や説明の表示ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 無管理水位開知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への周知、別様の実施 、別様の実施 日津な避難を使すわかりやすい避難情報の伝道文の検討 河川情報園画の提供先拡大(データ放送、CATV)	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。 ホームページでの公表、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。 ー ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	八頭町 一 一 一 八頭町 八頭町 八頭町	平成30年度から 平成30年度から	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中	核計 組結実施 核計
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい園面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 無管理水位開知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への周 切、別様の実施 日常な避難を使すわかりやすい避難情報の伝達火の検討	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。 ホームページでの公表、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。 ー ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	八頭町 一 一 一 一 一 一 八頭町	平成30年度から 平成30年度から 一 総続実施 平成29年度から 平成20年度	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中	核討 超研実施 核計
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい国面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 無管理水位景知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への周知、別様の実施 名家庭等の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な避難を使すわかりやすい避難情報の伝道文の検討 河川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良 (水位情報追加)	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。 ホームページでの公表、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。 ー ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	八頭町 一 一 一 八頭町 八頭町 八頭町 八頭町	平成30年度から 平成30年度から - - 総続実施 平成29年度から 平成20年度 平成29年度から	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中	核計 超級実施 核計 核計
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい国面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 無管理水位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への周知、別様の実施 各家庭毎の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な避難を促すわかりやすい避難情報の伝道文の検討 河川情報画面の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。 ホームベージでの公表、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。 ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平成30年度から 平成30年度から - 一 - 総続実施 平成29年度から 平成29年度から 平成29年度から - 一	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中 検討中	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中 検討中	核計 超枝実施 核計 核計
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい調画への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 無管理水位開知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への居 知、別様の実施 各家庭等の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円沸な避難を促すわかりやすい避難情報の伝道文の検討 河川情報調画の提供先拡大(データ放送、CATV) あんしんトリピーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の決水情報の発信 防災サインの書及促進	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。 ホームページでの公表、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。 ー ー 各種広報媒体を活用しての開知 無管理水位原知河川のタイムラインの運用及び検証 タイムラインを活用した訓練の変態 ハザードマップに日頃からの備えや避難場所を掲載 防災無線、IPC、CATV、エリアメール等の情報伝達文の検討 ー ー	八頭町 一	平成30年度から 平成30年度から - 一 総株実施 平成20年度から 平成20年度から - 一 平成29年度から	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中 検討中	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中 検討中	核計 組械実施 核計 核計 核計
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい面面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 報告要法位周知识川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への周知、別域の実施 ・	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。 ホームページでの公表、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。 ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	八頭町 一 一 一 一 八頭町	平成30年度から 平成30年度から 一 総株実施 平成30年度から 平成20年度から 一 平成29年度から 平成29年度から 平成29年度から	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中 検討中 検討中	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中 検討中 検討中	機計 組織実施 模計 検討 検討
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 無管理本位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への原 北、副総の実施 各家庭報の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な避難を促すわかりやすい避難情報の伝達文の検討 河川情報画画の提供失拡大(データ放送、CATV) あんしんトリピーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信 防災サインの罪及促進 指数管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への認明会実施	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。 ホームページでの公表、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。 - - - - - - - - - - - - -	/ 八頭町	平成30年度から 平成30年度から	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中 検討中 検討中 検討中 検討中	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中 検討中 検討中 検討中 検討中 検討中 検討	機計 翻練実施 機計 検討 検討 検討
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 無管理大位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への周 北、腕側の実施 各家庭毎の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な避難を促すわかりやすい避難情報の伝達文の検討 河川情報画面の提供失拡大(データ放送、CATV) あんしんトリビーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信 防災サインの華及促進 施設管理者への説明会実施 避難確保計画の作成や避難訓練実施の支援 氾濫の拡大が等系列的にわかるシミュレーションの提供、公開 避難動告等の目安となる河川水位情報の自動配信 河川管理者と市町村長とのホットラインの定着	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。 ホームページでの公表、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。 ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	/ 以頭町 / 小頭町	平成30年度から 平成30年度から	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中 検討中 検討中	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中 検討中 検討中	核計 組械実施 核計 核計 核計
スマートフォン等の位置情報を活用した情報の入手システムの検討 ホームページやデータ放送等のわかりやすい画面への改良や説明の表示 ホームページやデータ放送等のアクセス方法の周知促進 無管理本位周知河川等の防災行動計画(タイムライン)の市町村との整理・共有、住民への原 北、副総の実施 各家庭報の「家庭用災害・避難カードの作成」の取組推進 円滑な避難を促すわかりやすい避難情報の伝達文の検討 河川情報画画の提供失拡大(データ放送、CATV) あんしんトリピーメールの改良(水位情報追加) ブッシュ型の洪水情報の発信 防災サインの罪及促進 指数管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への説明会実施 起戦管理者への認明会実施	他自治体との情報共有や連絡体制の整備。 ホームページでの公表、住民にわかりやすい情報・表示の提供を検討。 - - - - - - - - - - - - -	/ 八頭町	平成30年度から 平成30年度から	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中 検討中 検討中 検討中 検討中	検討中 防災マップに掲載 検討中 検討中 検討中 検討中 検討中 検討中 検討中 検討	機計 翻練実施 機計 検討 検討 検討

二級水系 流域治水プロジェクト

を図ります。

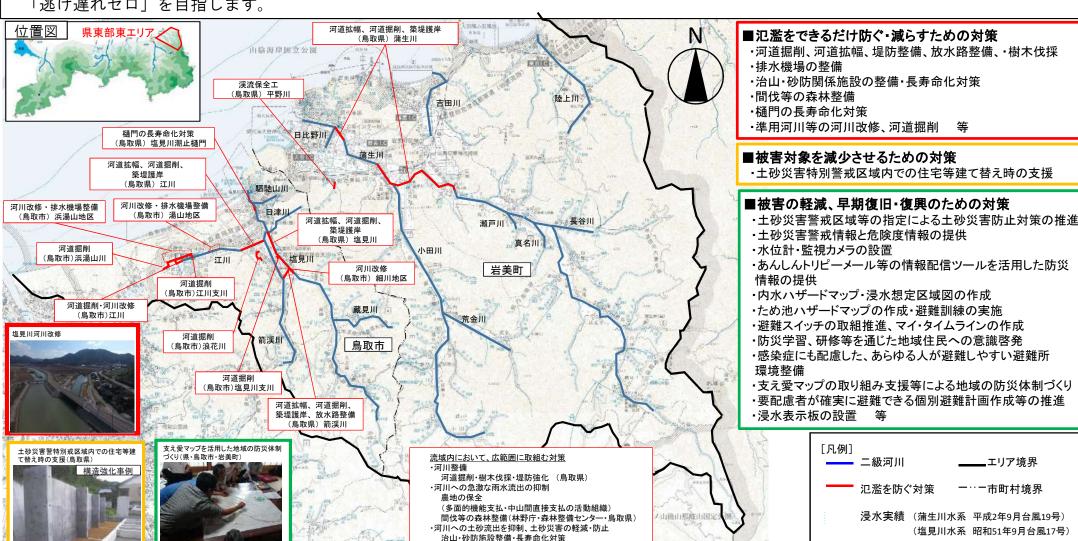
塩見川・蒲生川外流域治水プロジェクト(県東部東エリア)【位置図】

県資料4-1

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

~あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」~ (最終とりまとめ案)

- ○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。 このうち、塩見川、箭渓川及び江川については、観測史上最大の被害規模である昭和51年9月台風17号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、家屋の浸水被害を軽減
- また、蒲生川については、観測史上最大の降雨が発生した平成2年9月台風19号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、災害発生の防止及び軽減を図ります。
- 〇あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、 「逃げ遅れゼロ」を目指します。



二級水系 流域治水プロジェクト

塩見川・蒲生川外流域治水プロジェクト(県東部東エリア)

【ロードマップ】 (最終取りまとめ案)

●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】蒲生川下流域の河道拡幅・河道掘削・護岸整備を行う。

【中期】塩見川については河道の暫定整備、箭渓川については放水路整備を行う。

蒲生川については下流域に引き続き上流域の河道拡幅・河道掘削・護岸整備を行う。

【中長期】蒲生川上流域、塩見川、箭渓川、江川の河道拡幅・護岸整備を行う。

あわせて、河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

区分	対策内容	実施主体		工程	
E-71	/ 1米17日	大池工件	短期	中期	中長期
	 (蒲生川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県	下流域	1 Notes	
				上流域	
	(塩見川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県	暫定整備		本施工
	(箭渓川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸・放水路整備	鳥取県	暫定整備		本施工
	(江川県管理区間)河道拡幅·河道掘削·築堤護岸	鳥取県			
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県			
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県			
口濫をできるだけ防ぐ・	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県			
	(塩見川潮止樋門) 樋門の長寿命化対策	鳥取県			
	(平野川)渓流保全工	鳥取県			
	88 / N/M o + 1. 15 / M	林野庁			
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県			
	(鳥取市管理区間)河道掘削	鳥取市			
	(湯山地区、浜湯山地区)排水機場整備・河川改修	鳥取市			
		鳥取市			
	(細川地区)河川改修	鳥取市			
披害対象を減少させる		鳥取県			
版音対象を減少させる ための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え時の支援	鳥取市 岩美町			
	上 土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県			
		鳥取県		-	
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供		+		
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県			
	あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県			
	内水ハザードマップ、浸水想定区域図作成	鳥取市	+	<u> </u>	
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	鳥取市 岩美町			
坡害の軽減、早期復		鳥取県			
日、復興のための対策	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取市 岩美町			
		鳥取県			
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取市 岩美町			
	 感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	鳥取市			
	CAME O GO WO O I C V O O I N M M M M M M M M M M M M M M M M M M	岩美町 鳥取県			
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取市			
		岩美町 鳥取市			
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	岩美町			

浜村川・勝部川外流域治水プロジェクト(県東部西エリア)【位置図】

県資料4-2

より変更となる場合がある。

~あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」~ (最終とりまとめ案)

- ○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進 める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
 - このうち、浜村川、勝見川、勝谷川については、観測史上最大降雨が発生した昭和54年10月台風20号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、被害の軽減を図ります。 また、勝部川、日置川、露谷川については、観測史上最大降雨が発生した昭和62年10月台風19号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、被害の軽減を図ります。
- 〇あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、



二級水系 流域治水プロジェクト

浜村川・勝部川外流域治水プロジェクト(県東部西エリア) 【ロードマップ】(最終取りまとめ案)

●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】露谷川等の護岸整備を行う。

【中期】勝見川、日置川については護岸整備、勝谷川、勝部川については、下流域に引き続き、河道拡幅・河道掘削・護岸整備行う。 【中長期】浜村川、勝谷川の河道拡幅・護岸整備を行う。

あわせて、河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

区分	対策内容	実施主体	短期	工程中期	中長期
	(浜村川)河道拡幅·河道掘削·築堤護岸	鳥取県			
	(勝見川)河道拡幅・河道掘削・放水路整備	鳥取県			
	(勝谷川)河道拡幅・河道掘削	鳥取県			
	(勝部川)河道拡幅·築堤護岸	鳥取県			
	(日置川)河道拡幅·河道掘削·築堤護岸	鳥取県			
	(露谷川)築堤護岸	鳥取県			
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県			
	(烏取市管理区間)河道掘削	鳥取市			
らすための対策	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県			
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県			
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県			
	(青谷地区)排水機場整備	鳥取市			
	(小沢見地区)排水機場整備	鳥取市			•
	(小沢見地区、青谷地区)河川改修	鳥取市			
	(日光川)河川改修	鳥取市		•	
	(瀧尻川、前田川、山根水路、大工町南裏川、重山谷川)河川改修	鳥取市			
	洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織			
被害対象を減少させるた めの対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	烏取県 烏取市		i I	Í
	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県			
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県			
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県			
	あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 鳥取市			
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	鳥取市			
	浸水想定区域図、内水ハザードマップ作成	鳥取市			
被害の軽減、早期復旧・ 復興のための対策	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 鳥取市			
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県			
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	鳥取市			
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 鳥取市			
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	鳥取市			
	浸水深表示の設置	鳥取県			